

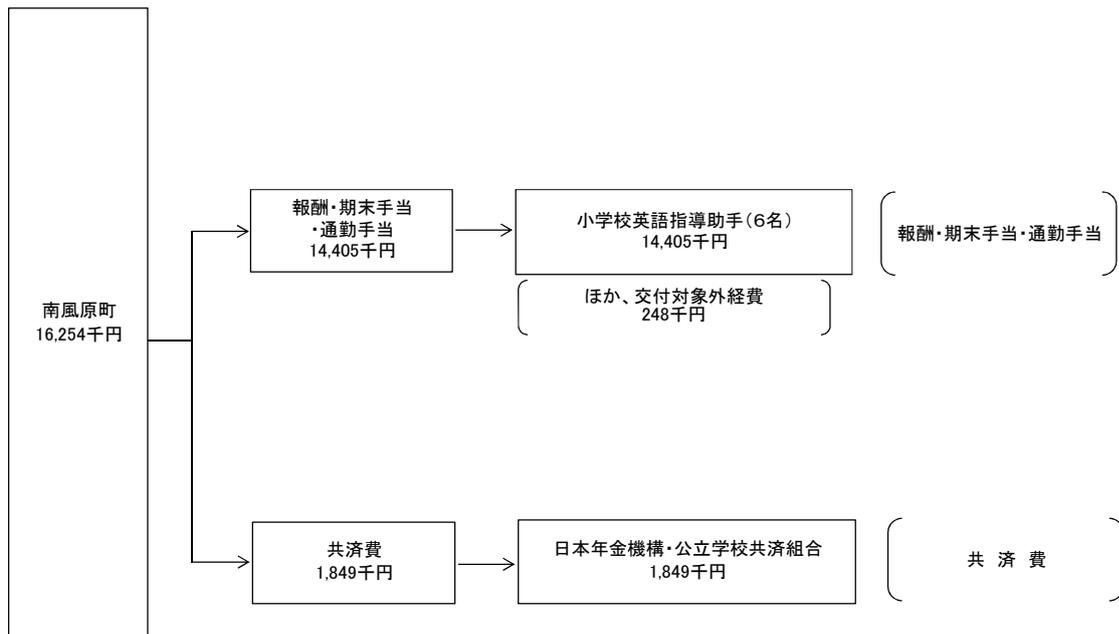
市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	青少年国際交流事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア			
担当部署名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身につける教育の推進		
事業内容	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ及び現地の学校への体験入学を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,119	-	-	-	8,403
		(b) 予算現額	4,841	-	-	-	6,514
		(c) 増減額(b-a)	722	-	-	-	-1,889
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	4,841	-	-	-	6,514
	B. 執行済額		4,841	事業中止	事業中止	事業中止	6,514
	うち交付金充当額		3,872				5,211
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	-	-	-	100.0%
予算の状況の説明		当初は、ホームステイの受け入れ先について、現地コーディネーターに委託する予定だったが、町人会の協力でホストファミリーを確保してもらった。事業費の不用が出たが、計画していた事業内容はすべて実施した。予算の1,478千円減額については旅費の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度				
	交流事業派遣生徒数:10名	目標	(10名)	(-)	(-)	(-)	
		実績	10名	-	-	-	
研修後報告会の開催	目標	(開催)	(-)	(-)	(-)		
	実績	2回	-	-	-		
達成状況説明	本研修は10日間の日程でアメリカ合衆国ハワイ州に10名の中学生を派遣し、3日間の現地視察と3日間のホームステイ体験、3日間の現地ミドルスクールへの体験入学を行い、町人会及び県人会との交流会も実施できた。 事前研修16回、事後研修10回並びに研修後報告会を2回開催し、研修で学んだ事を多くの生徒や保護者、学校関係者等へ発表することができた。また、研修報告書を作成し各関係機関へ配布する事で、本事業の取り組み内容や派遣生徒の研修成果を広く周知することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度		目標値(年度)	
	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(-)	(-)	()
		実績		100%	-	-	
			目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	国際交流に行った生徒、保護者へアンケートを実施し、外国語や海外文化への興味をこれまで以上に持ったと回答した割合が100%となり、目標の80%を達成できた。 「英語検定やTOEICなどの資格取得に挑戦したい」、「外国への留学を目指すようになった」等、海外文化に直接触れる事で「これまで以上に外国語に関わる職業への関心が高くなった」、「日本の良さを改めて知った」等の外国語への関心が高まっただけでなく、海外文化を通して自国への関心も高くなっていることがわかった。						

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	小学校英語指導助手配置事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア			
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,200	14,277	15,848	16,675	17,321
		(b) 予算現額	7,200	14,058	15,497	16,257	16,254
		(c) 増減額(b-a)	0	-219	-351	-418	-1,067
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		7,200	14,058	15,497	16,257	16,254
	B. 執行済額		7,130	13,825	14,931	15,517	16,254
	うち交付金充当額		5,704	11,060	11,945	12,413	13,003
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.0%	98.3%	96.3%	95.4%	100.0%
予算の状況の説明		当初から6人採用できていたが、うち1人が7月から勤務日数、勤務時間の変更(減)があり報酬及び期末手当等が減少した。第4回変更で不用額を整理したことにより予算執行率は100%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	小学校英語指導助手配置数:6人 ・4名 4校各1人 ・2名 中学校区各1人		目標 (6人)	(6人)	(6人)	(6人)	
			実績 6人	6人	6人	6人	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	町内小学校4校全てと2中学校区に1人ずつ全てに英語指導助手を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:80%以上		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	77.65%	88.5%	86.5%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	アンケート調査を行った結果、外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合は86.5%と目標(指標)を6.5%上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・アンケート調査を行った結果、「外国の人と友達になりたい、もっと知りたい」に対し13.5%の児童・生徒は「そう思わない」と回答している事から、授業を通して外国や外国語に興味を持って貰える取組が必要である。</p>	<p>・全学年を通して外国語に興味を持ってない理由として「外国語は難しい」「発音や単語を覚えるのが難しい」との回答が多数をしめている事から、「難しい」というイメージを軽減しながら、楽しく授業に参加できる取組が必要と考える。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・全学年の児童・生徒が楽しく授業に参加できるよう、担任、英語専科、英語指導助手と連携を図り、授業の改善に取り組み、授業が楽しかったと思える環境を整えていく。 ・児童が外国語に興味を持てるようにするにはどのように取り組むべきかを調査検討し、連携強化のため研修等も行いながら、より質の高い授業が展開できるように取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
16,502	16,254	13,003	3,251	248



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○英語指導助手の選定は採用前に面接を行い、資格や発音が正確な助手を採用しており選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた給料や手当等を支払っており適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	学力調査等事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	個々の学力を把握することで一人ひとりの課題を明確にし、児童生徒のさらなる学力向上に繋げるため、学力調査等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,530	4,895	4,705	4,306	5,828
		(b) 予算現額	4,530	3,994	4,127	4,338	10,093
		(c) 増減額(b-a)	0	-901	-578	32	4,265
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		4,530	3,994	4,127	4,338	10,093
	B. 執行済額		4,234	3,977	4,093	4,230	9,894
	うち交付金充当額		3,387	3,181	3,275	3,383	7,914
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		93.5%	99.6%	99.2%	97.5%	98.0%
予算の状況の説明		町内全ての小中学校(小学校4校、中学校2校)において学力調査を実施し、適正な予算執行を行った。令和5年度事業費が増となっている理由は、令和4年度と同様の事業に加え、到達度確認問題委託業務も行ったためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	標準学力調査の実施・小学校4校 2年～3年:国語・算数		目標	(小学校4校)	(小学校4校)	(小学校4校)	(小学校4校)
			実績	小学校4校中4校	小学校4校中4校	小学校4校中4校	小学校4校中4校
	学力調査の実施・中学校2校 3年:国語・数学・理科・社会・英語		目標	(中学校2校)	(中学校2校)	(中学校2校)	(中学校2校)
			実績	中学校2校中2校	中学校2校中2校	中学校2校中2校	中学校2校中2校
	リーディングスキルテストの実施 ・小学校4校 5年～6年・中学校2校 1年～2年		目標	(小学校4校 中学校2校)	(小学校4校 中学校2校)	(小学校4校 中学校2校)	(小学校4校 中学校2校)
			実績	小学校4校中4校 中学校2校中2校	小学校4校中4校 中学校2校中2校	小学校4校中4校 中学校2校中2校	小学校4校中4校 中学校2校中2校
	外部講師による研修会等の実施		目標	()	()	(実施)	(実施)
			実績			実施	実施
到達度確認問題 ・中学校2校 1～3年		目標	()	()	()	(中学校2校)	
		実績				中学校2校中2校	
達成状況説明	標準学力調査、学力調査、リーディングスキルテスト、到達度確認問題について、対象の小中学校で計画どおり実施することができた。また、外部講師による研修会の実施も計画通り実施できた。						

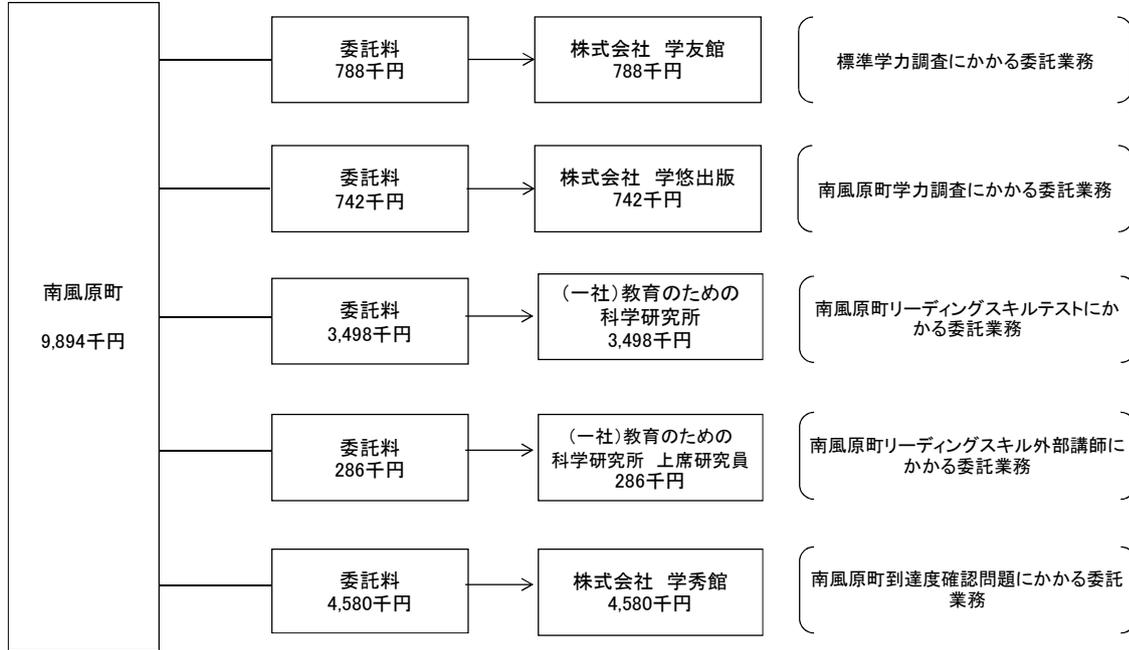
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学2年:2科目/2科目 小学3年:2科目/2科目	目標	()	(小学1年~2年 2科目(全科目))	(小学1年~2年 2科目(全科目))	(小学2年~3年 2科目(全科目))	()	
		実績			小学校:1年(2科目) 2年(0科目)	小学校:2年(1科目) 3年(0科目)	小学校:2年(1科目) 3年(0科目)	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計 小学校:算数-1.0ポイント以上	目標	()	(小6 算数+3.3)	(小6 算数-1.0)	(小6 算数-1.0)	()	
実績				小6 算数-0.1	小6 算数+1.1	小5 算数 -1.4 小6 算数 -1.5		
沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計 中学校:数学+1.0ポイント以上	目標	()	(中1 数学+0.9) (中2 数学+0.9)	(中1 数学+5.1) (中2 数学+5.1)	(中1 数学+1.0) (中2 数学+1.0)	()		
	実績			中1 数学-0.2 中2 数学+0.2	中1 数学-0.5 中2 数学+0.3	中1 数学-1.1 中2 数学+0.4		
進捗状況説明	<p>標準学力調査の実施により、国語においては小学2年生の正答率が8割近くまで達し、目標値を上回っている。しかし、小学3年生では「書くこと」の領域問題が昨年度同様極端に弱く苦手分野の課題が見えた。</p> <p>算数では基礎的な知識の問題で小学2年が目標値を上回ったが、小学3年が目標値を下回った。小学3年においては思考的な問題は約4割の正答率であり文章問題になると解けない子が多い傾向がある。</p> <p>県学力到達度調査においては、目標値には達していないが無回答率においては前年度より減少し問題に対し回答してみる姿勢の向上は見受けられた。</p>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<ul style="list-style-type: none"> 全体的に、学習の対象や文脈から設問の目的を自分なりに捉え、解決に導くプロセスを理解する事が課題。 問題の意図することを読み取れるようにするため自宅学習に取り組ませる手法が必要。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 全教科で読解力を意識した授業を行うことで、問題の意図することを読み取れる力や文脈を理解する力が付けられるよう自宅学習に取り組ませる手法に努める。 授業の中で、学習のねらいを意識した意図的な発問や思考を広げたり深める発問を取り入れた授業展開を工夫するなど授業改善を図る。 1人1台端末やデジタル教材等の効果的な活用により思考力、判断力、表現力等の育成を図る。 		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,894	9,894	7,914	1,980	0



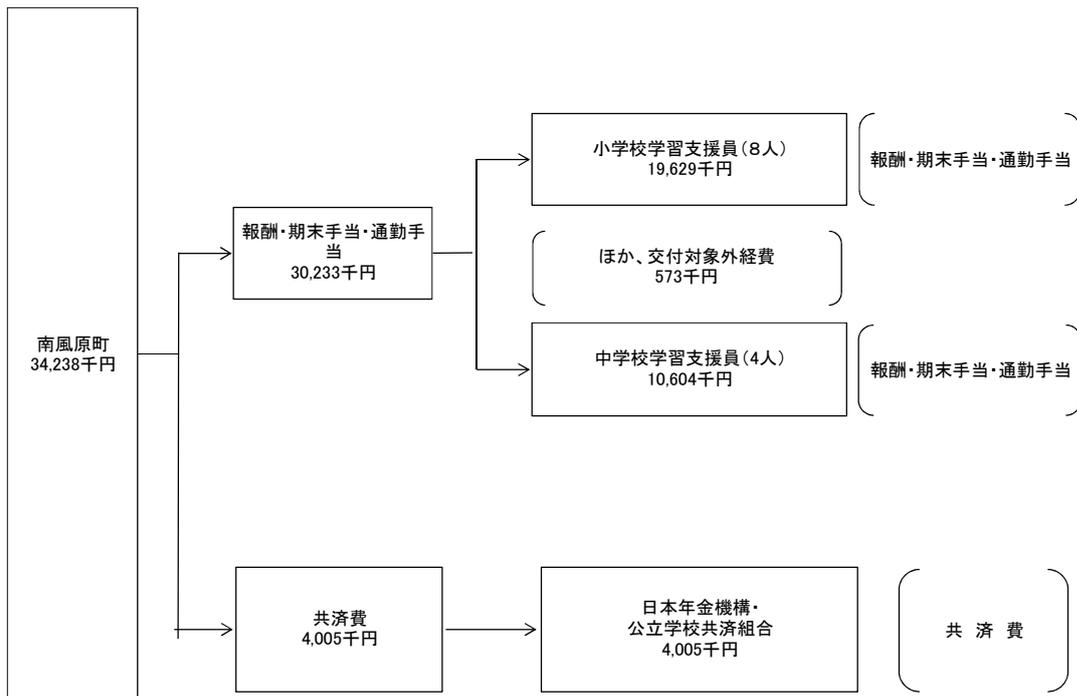
資金 使途の 流れ、 点検、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、地方自治法施行令に基づく随意契約により実施しており、妥当である。 ○予算規模は、本事業の完遂に必要な費用に限られており、適正であった。 ○費目・使途については、学力調査委託料として目的に即し、受験者数に応じ支出しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	学習支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア 確かな学力を身に付ける学校教育の充実	
担当部署	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(a) 当初予算額	23,040	30,621	40,173	35,072	35,956	
	(b) 予算現額	23,040	33,198	37,517	33,112	35,366	
	(c) 増減額 (b-a)	0	2,577	-2,656	-1,960	-590	
	(d) 繰越額						
	A. 計 (b+d)	23,040	33,198	37,517	33,112	35,366	
	B. 執行済額	22,004	31,529	35,587	31,444	34,238	
	うち交付金充当額	17,603	25,223	28,469	25,155	27,390	
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)	95.5%	95.0%	94.9%	95.0%	96.8%	
予算の状況の説明	小学校で2人、1月に途中退職があり代替の人材の募集を行ったが、応募者がおらず補充には至らなかった事により予算現額より96.8%の執行率となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	支援員配置 (小学校)8名:4校各2名配置 (中学校)4名:2校各2名配置	目標	(小学校10人 中学校4人)	(小学校10人 中学校4人)	(小学校8人 中学校4人)	(小学校8人 中学校4人)	
		実績	小学校10人 中学校4人	小学校10人 中学校4人	小学校8人 中学校4人	小学校8人 中学校4人	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	小学校において1月に途中退職者が2人おり、代替の人材を補充することはできなかったが、年間を通じて概ね各校2人の学習支援員を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	・小学校 沖縄県学力定着状況調査(学びのたしかめ)において県と本町との平均正答率の差の合計算数-3.7ポイント以上	目標	()	(数学-3.7ポイント)	()	()	()
		実績		数学-2.6ポイント			
	・小学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計算数-1.0ポイント以上	目標	()	()	(算数-1.0ポイント以上)	(算数-1.0ポイント以上)	()
		実績			算数1ポイント	算数-2.9ポイント	
	・中学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上	目標	()	(数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 英語+3.0ポイント以上)	(数学+5.1ポイント以上)	(数学+5.1ポイント以上)	()
実績			数学-0.1ポイント 理科 実施なし 英語-2.2ポイント	数学-0.2ポイント	数学-1.5ポイント		
進捗状況説明	県と本町との平均正答率の差の合計を指標としたところ、小学校については算数-2.9ポイント、中学校については数学-1.5ポイントとなり、目標を達成することができなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校において目標を大きく下回り達成することができなかった。 ・今回の到達度テストで思考力・判断力・表現力を問う記述式問題に課題が見られたため、今以上に本町生徒の読解力向上を目指して、授業改善を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数、数学は習熟の程度が大きい教科といわれていることから、生徒の思考力・判断力・表現力を問う授業で、個別に支援が必要な生徒に対し学習支援員を活用しながら、基礎学力の向上や苦手分野の克服を行っていく必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学習支援員の配置を行い、教員と学習支援員、教育委員会が一体となり、学力向上に取り組む。 ・学力向上のために何が必要か調査、検討し、授業力向上及び教員と学習支援員の連携強化のため研修等も行いながら、より質の高い授業が展開できるように取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
34,811	34,238	27,390	6,848	573



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員の選定は、採用前に面接を行い、資格や教職経験等を考慮して採用しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた時給を支払っており適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	特別支援教育支援員配置事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ			
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	通常学級で一斉指導についていけない発達障害等のある子どもに対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	68,466	88,900	93,756	106,327	109,191
		(b)予算現額	53,054	80,292	97,468	94,086	103,677
		(c)増減額(b-a)	-15,412	-8,608	3,712	-12,241	-5,514
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		53,054	80,292	97,468	94,086	103,677
	B. 執行済額		48,571	74,508	89,300	85,614	102,193
	うち交付金充当額		38,857	59,606	71,440	68,490	81,754
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		91.6%	92.8%	91.6%	91.0%	98.6%
予算の状況の説明		幼稚園・小中学校への特別支援教育支援員配置を行ったが、中途退職・中途採用があったため執行率は98.6%となった。 また、支援員の途中退職により補充ができず欠員が生じた期間があったことから、第4回計画変更で5,514千円の減額を行い予算現額は103,677千円となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	特別支援教育支援員配置数 小学校:23人、中学校:6人、幼稚園:25人	目標	幼稚園20人 小学校26人 中学校5人	幼稚園24人 小学校23人 中学校6人	幼稚園25人 小学校23人 中学校6人	幼稚園25人 小学校23人 中学校6人	
		実績	幼稚園17人 小学校23人 中学校5人	幼稚園24人 小学校23人 中学校6人	幼稚園25人 小学校23人 中学校6人	幼稚園25人 小学校23人 中学校6人	
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	当初は幼小中に全員配置できていたが、幼稚園、小学校については中途退職に伴う人員確保に苦慮し、幼稚園については最終的に2人の補充が行えなかったが、小学校については補充することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		95.5%	96.5%	95.9%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	特別支援教育支援員の対応についてアンケートを実施し、対象の園児・児童・生徒の保護者122名から回答を得られた。集計の結果、満足度95.9%と目標を達成した。						

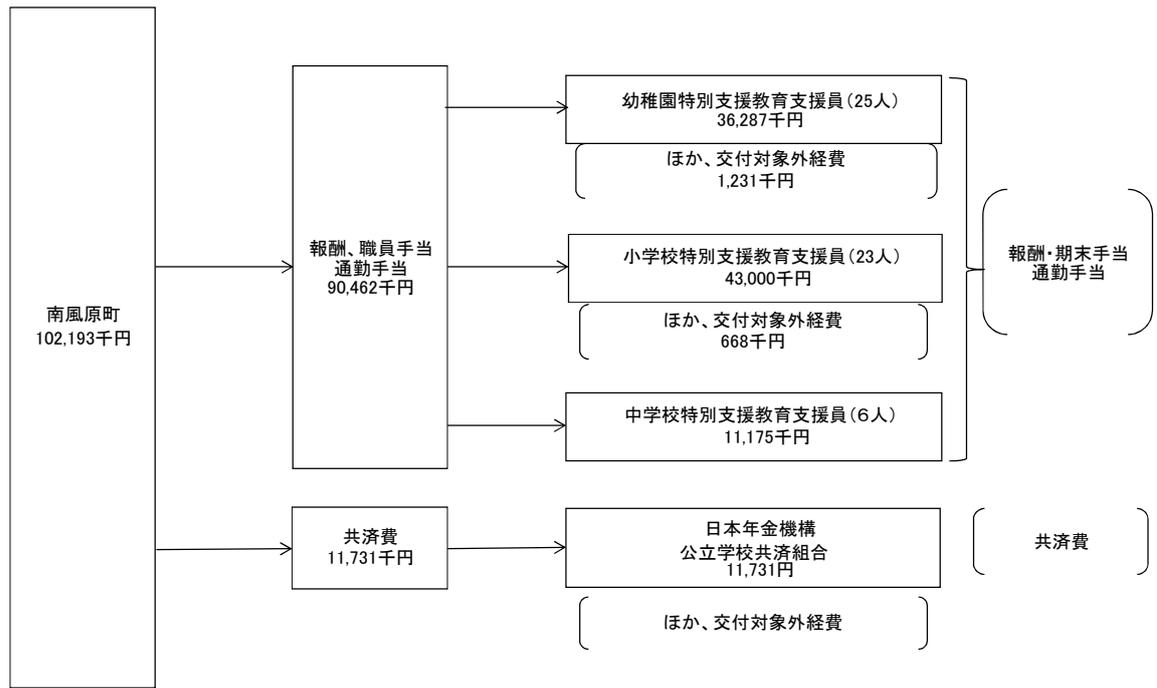
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・アンケート結果が目標を上回っている要因としては、年3回特別支援教育支援員の研修を行い、事例研究や障害特性への理解や対応方法等を検討するなど、特別支援教育支援員の質の向上に向けた取り組みが、結果として対応の満足度に繋がっていると考えられる。今後も適切な支援ができるよう、研修等を通し支援員の質の向上を図っていく。</p>	<p>・今後も支援員の質の向上を図り、引き続き障害等のある児童生徒が落ち着いて学習できる環境を整える。</p>

今後の取り組み方針

・保育園や幼稚園、学校現場等から早めに情報提供を受け、必要となる人員の確保に努めるとともに、早期の療育に努め、個々の状態に応じた支援が行えるように取り組む。
 ・得た情報を基に特別支援教育相談員と教職員等で連携しながら、効率よい特別支援教育支援員の配置に努める。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
104,152	102,193	81,754	20,439	1,959



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特別支援教育支援員の選定は採用前に面接を行い、資格や経験等を考慮して採用しており選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途が事業目的に即しているかについては「南風原町会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則」に決められた月給を支払っており適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥ 学校ICT推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	<p>教員のICT機器の習熟及び学校教育の質を確保するため、ICT支援員を配置する。また、児童数の増加によるクラス数や特別教室が増えた学校へ電子黒板一式の整備を図る。 普通教室へ入れない児童生徒の学びの保障及び学力向上を図るため、特別教室へICTネットワークの整備を図る。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		6,720	95,405	20,046	10,009	11,717
			6,720	88,117	26,759	8,866	13,398
			0	-7,288	6,713	-1,143	1,681
			-	-	-	-	-
			6,720	88,117	26,759	8,866	13,398
	B. 執行済額		6,714	85,073	25,873	8,866	13,398
	うち交付金充当額		5,371	68,059	20,698	7,092	10,718
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.9%	96.5%	96.7%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		ICT機器を十分に活用できるようにICT支援員を小中学校に配置した。また、クラス増に伴い電子黒板一式の整備を図った。なお、普通教室へ入れない児童生徒の学力向上を図るため、特別教室へICTネットワークの整備を行うため、1,681千円予算増額し、執行率は100%で計画通り全て実施することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ICT支援員配置1名配置	目標	(1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実績	1名	1名	1名	1名	
	・4小学校・2中学校へタブレットPC等を整備 小学校:106教室 中学校:43教室	目標	(小学校:106教室 中学校:43教室)	()	()	()	
		実績	小学校:106教室 中学校:43教室				
	タブレットPC等を整備できていない教室への整備	目標	()	(小学校:10教室 中学校:9教室)	()	()	
		実績		小学校:10教室 中学校:9教室			
	クラス増となった教室へ電子黒板の整備	目標	()	(小学校:1教室 中学校:6教室)	(小学校:3教室)	(小学校:3教室)	
		実績		小学校:1教室 中学校:6教室	小学校:3教室	小学校:3教室	
教育相談室などの特別教室へICTネットワーク環境の整備	目標	()	()	()	(小学校:8教室 中学校:5教室)		
	実績				小学校:8教室 中学校:5教室		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ICT支援員を計画通り配置することができた。 クラス増となった教室へ電子黒板一式の整備を行い、授業に対する興味や集中力を高めることができた。 普通教室へ入れない児童生徒の学びの保障及び学力向上を図るため、教育相談室などの特別教室へICTネットワーク環境の整備することができた。 						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	①教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		93.18%	94.06%	94.29%	
	②・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
実績			89.14%	91.37%	83.77%		
進捗状況説明	<p>成果目標①では、3月に教員にアンケートを実施した。その結果、94.29%が習熟度が上がったと答え、目標を達成することができた。また、ICT支援員を継続して配置していることで、電子黒板などのICT機器の活用技術が向上しており、わかりやすく魅力ある授業が実施でき、教育の質の向上に繋げることができた。オンライン配信なども日常で行われており、ICT機器の習熟度が上がったことで、教育環境の幅を広げることができた。</p> <p>成果目標②においては、3月に児童生徒に対しランダムで抽出を行いアンケートを実施した。その結果、83.77%が電子黒板等を整備したことで授業が楽しく分かりやすかったと答え、目標を達成することができた。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟)</p> <p>ICT支援員を配置したことにより、教員による学校ICT機器の活用を積極的に行えることができた。また、近年のコロナ禍の影響もあり、オンラインを活用した授業や学習、行事などが頻繁に行われるようになった。教員のスキルが向上したことで、児童・生徒への学びの保障や学習の幅を広げることに繋がった。</p> <p>(電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合)</p> <p>成果目標である「電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上」とした、アンケート調査では83.77%の結果となり、目標の80%以上を超えることができた。学びの保障を確保するため、積極的に電子黒板等のICT機器を活用したことで、教員のスキルが向上し、楽しく分かりやすい授業ができた結果ではないかと考える。</p>	<p>(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟)</p> <p>継続してICT支援員を配置していることで、教員の授業の幅が広がり、また近年のコロナ禍の影響もあることで、オンラインを活用した授業などを積極的に実施するなど、ICT機器の活用スキルが全体的に向上している。引き続き成果目標を80%以上と設定し、更なるICT機器の活用ができるよう、ICT支援員と更なる連携、情報共有を図っていく。</p> <p>(電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合)</p> <p>今後も、成果目標の達成ができるように、様々なツールを活用した授業方法を取り入れ、マンネリ化させることなく児童生徒が楽しく分かりやすい授業を受けることができる環境を提供していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟)</p> <p>ICT機器の活用を積極的に行うことで、教員のICT機器の習熟度をあげていく。そのためには、ICT支援員と連携をおこない学校内での研修や資料などによる情報の提供や共有などを実施し、活用提案などをおこなっていく。また、苦手な教員や経験が浅い初任者の教員についても全体研修はもちろんのこと、少数単位の研修も行い、ICT機器の習熟度の向上に繋げていく。</p> <p>(電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合)</p> <p>コロナ禍の影響により、オンライン授業や学習を行うなど、授業スタイルが大きく変化した時期もあったが、今後もオンラインの活用は継続して行われていくと考える。電子黒板などのICT機器の利活用は児童生徒に人気であり、魅力ある授業をするうえで必要不可欠となっている。今後も引き続き、児童生徒を惹きつける授業が行えるような様々な方法を研究し、児童生徒の集中力を促す授業環境を提供していけるよう努めていく。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	13,398	13,398	10,718	2,680	0
南風原町 13,398千円	委託料 6,655千円	株式会社 興洋電子 6,655千円	ICT支援員に係る委託料 支援員 1名		
	委託料 3,179千円	株式会社 興洋電子 3,179千円	学校通信ネットワーク整備委託料 小学校8教室、中学校5教室		
	備品購入費(入札) 3,564千円	株式会社 興洋電子 3,564千円	小学校電子黒板購入に係る備品購入費 2小学校		
資金の流れ、費目・費目の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ICT支援員委託事業はプロポーザル方式で選定を行っており、学校通信ネットワーク環境施設整備委託事業及び小学校電子黒板購入事業は指名競争入札を行ったことから妥当であった。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○各事業に係る予算が適正に積算されており、予算規模は適正な規模であった。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については各事業における必要経費であり、目的に即し、必要なものであったと判断した。		

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦ 教育相談支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進		
事業内容	不登校児童生徒数の改善を図るため、青少年教育相談員、特別支援教育相談員、自立支援教室支援員、適応指導教室学習支援員、心の教室相談員を配置する。また作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、Q-Uテストを実施し不登校の未然防止に取り組む、不登校または不登校傾向にある児童生徒の登校支援強化のため、登校支援車を購入する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,143	19,629	24,301	27,878	28,241
		(b) 予算現額	16,143	19,290	24,301	23,791	31,235
		(c) 増減額(b-a)	0	-339	0	-4,087	2,994
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		16,143	19,290	24,301	23,791	31,235
	B. 執行済額		15,495	19,379	22,070	22,022	31,061
	うち交付金充当額		12,396	15,503	17,656	17,512	24,848
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.0%	100.5%	90.8%	92.6%	99.4%
予算の状況の説明		当初予算計上後、不登校または不登校傾向にある児童生徒の登校支援強化のため、登校支援車を購入する備品購入費を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・青少年教育相談員 1名配置 ・特別支援教育相談員 1名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・心の教室相談員 6名配置	目標	(配置)	(配置)	(配置)	(配置)	
		実績	配置	配置	配置	配置	
	・作業療法士の派遣 66日 ・教育相談支援事業(hyper-QU)の実施(小学校4校、中学校2校)	目標	()	(66日)	(66日)		
		実績		92日	132日		
	・作業療法士の派遣(4幼稚園、4小学校、2中学校) ・Q-Uテストの実施(小学校4校、中学校2校)	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	・登校支援車の購入 5台	目標	()	()	()	(5台)	
		実績				5台	
達成状況説明	町内の小中学校に青少年教育相談員1名、特別支援教育相談員1名、自立支援教室支援員1名、適応指導教室学習支援員2名、心の教室相談員6名を配置し、不登校児童生徒及び保護者の相談等の支援を行うことが出来た。また学校等へも作業療法士を110日派遣し、児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、Q-Uテストを実施し不登校の未然防止に取り組んだ。更には、不登校または不登校傾向にある児童生徒の登校支援強化のため、登校支援車を購入し登校支援を実施した。						

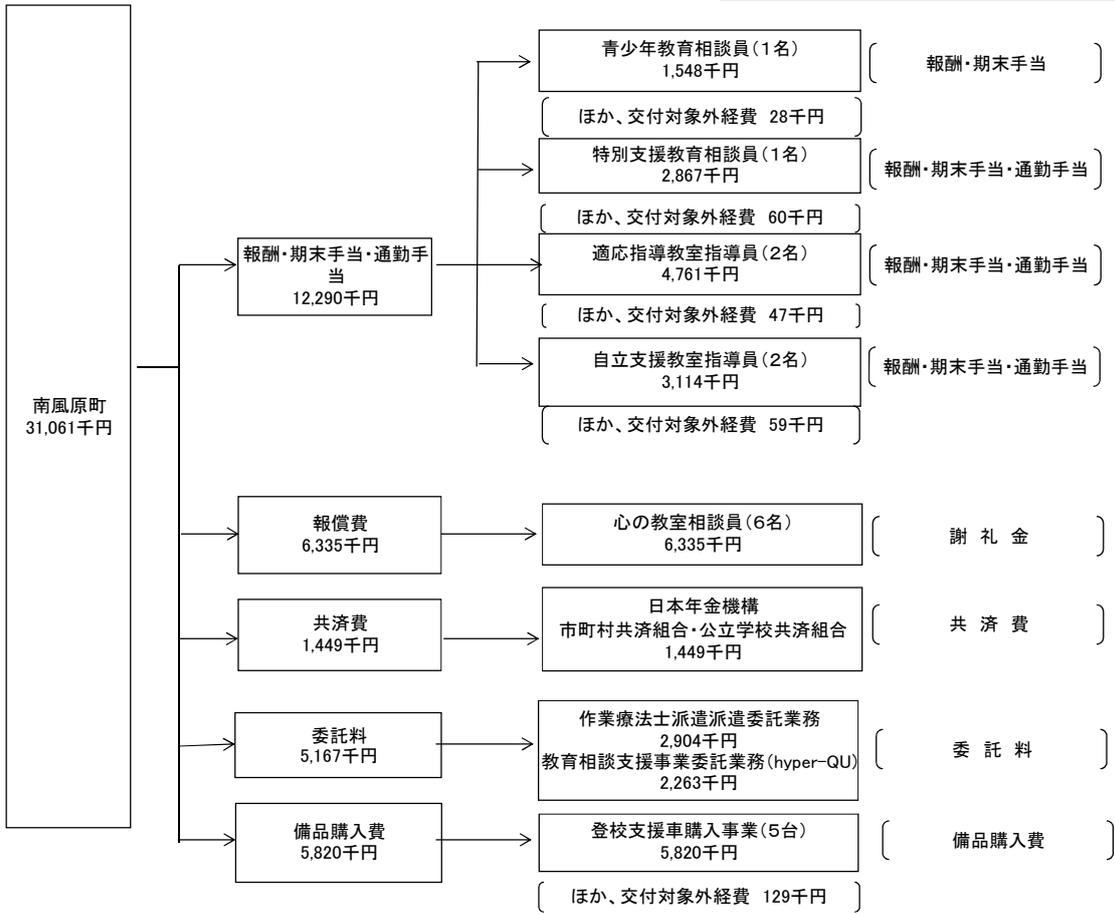
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	不登校児童生徒復帰率:22.8%以上	目標	()	(22.8%)	(22.8%)	(22.8%)	()
		実績			18.4%	6.3%	0.8%
	【参考指標】 不登校児童生徒復帰率(全国)	目標	()	()	()	()	()
実績				28.0%	27.8%	27.2	
進捗 状況 説明	不登校児童生徒復帰率については目標値を下回っているが、これまでの支援に加え作業療法士を派遣し、児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、Q-Uテストを取り入れ、不登校傾向にある児童生徒の登校支援強化のため、登校支援車を購入し登校支援を実施する事で不登校の未然防止に取り組んだ。						

取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<p>・不登校児童生徒に対して早期の療育に取り組んでいるが、不登校児童生徒数は増える傾向にあり、不登校児童生徒復帰率も低下している。要因としては、生活リズムの乱れによる影響が考えられるため、作業療法士を派遣し、児童生徒の多様性に対応した、学習環境を更に構築する必要がある。またQ-Uテストを実施し、キャリアステージに即し不登校対策に取り組み、不登校傾向にある児童生徒の登校支援も強化する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・学校、地域及び行政等が連携し、教育相談事業の充実を図り、継続して作業療法士を派遣し、Q-Uテストを活用するとともに、不登校及び不登校傾向にある児童生徒の登校支援を強化して、不登校の未然防止及び登校復帰に取り組む。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,384	31,061	24,848	6,213	323



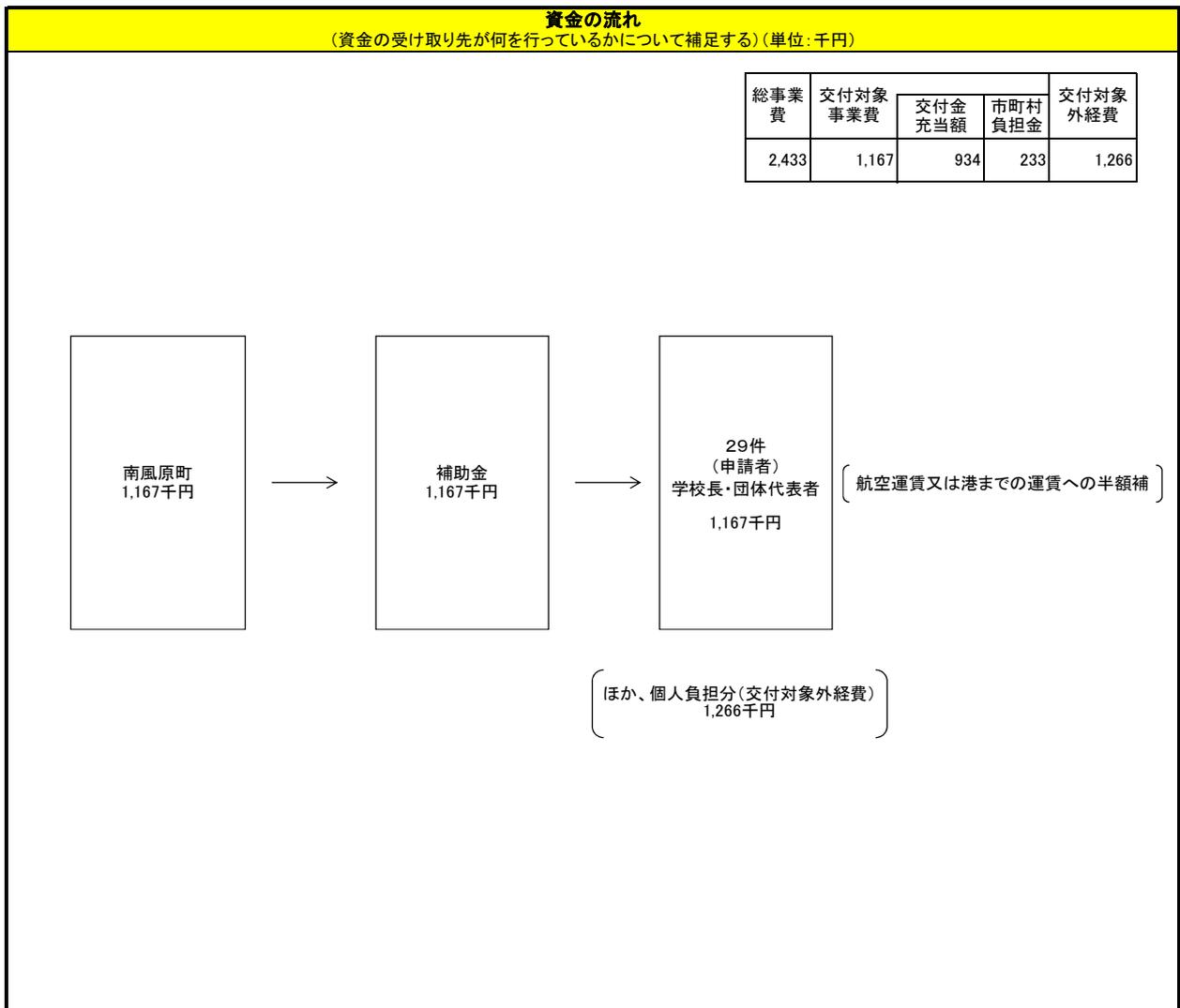
評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○各相談員の選定は、採用前に面接を行い、資格や経験等を考慮して採用しており、また各契約等についても地方自治法施行令に基づく随意契約及び指名競争入札により実施しており妥当である。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の完遂に必要な費用に限られており、適正であった。
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されており、適正であったと考える。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

資金の流れ、費目、評価

市町村名		南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑧	中学校外国人英語指導助手配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の 推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	中学校に外国人英語指導助手を配置し、英語学力の向上を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,780	4,944	5,354	5,381	5,300	
		(b) 予算現額	3,780	4,944	5,354	4,986	4,837	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	-395	-463	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	3,780	4,944	5,354	4,986	4,837	
	B. 執行済額		3,435	4,879	5,209	3,572	4,835	
	うち交付金充当額		2,748	3,903	4,167	2,857	3,868	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		90.9%	98.7%	97.3%	71.6%	100.0%	
予算の状況の説明		執行率100.0%となっており、必要な人員の配置を行うことができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	中学校に外国人英語指導助手を1名配置する。	目標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)		
		実績	1人	1人	1人	1人		
		目標	()	()	()	()		
実績								
達成状況説明		活動目標どおり外国人英語指導助手を年度当初から1人配置し、英語教育を展開することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差		目標	()	(+3.0ポイント以上)	(+5.0ポイント以上)	()	()
	・中学校 英語+5.0ポイント以上		実績		+0.85ポイント	1年:-3.9 2年:-4.6		
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差		目標	()	()	()	(+0.0ポイント以上)	()
	・中学校 英語+0.0ポイント以上		実績				1年:-1.1 2年:+1.2	
進捗状況説明		目標値を1年生は1.1ポイント下回っており達成に至らなかったものの、2年生は1.2ポイント上回り目標達成に至った。目標未達成の要因は、小学校英語から中学校英語に移行する段階である1年生で抵抗があり、生徒が英文法や英会話などに慣れず苦手意識を持ったことが原因だと考えられる。まずは、中学校英語に慣れていくために、外国人英語指導助手を大いに活用して、あいさつや簡単な日常会話などを英語で行い、コミュニケーションを図っていくように努める。						

市町村名		南風原町					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨ 南風原町県外等派遣支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(2)-ウ		
担当部課名	教育部 生涯学習文化課		事業実施(予定)年度	平成25~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,976	2,976	2,976	2,512	2,512
		(b) 予算現額	2,976	976	2,000	1,269	1,250
		(c) 増減額(b-a)	0	-2,000	-976	-1,243	-1,262
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		2,976	976	2,000	1,269	1,250
	B. 執行済額		1,893	273	984	1,044	1,168
	うち交付金充当額		1,514	218	787	835	934
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		63.6%	28.0%	49.2%	82.3%	93.4%
予算の状況の説明		派遣人数が伸びず1,262千円減額補正したが、予算執行率が前年度に比べ11.1%増加し、概ね予算執行できており適正な予算執行ができたと考え。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援	目標	(派遣の支援)	(派遣の支援)	(派遣の支援)	(派遣の支援)	
		実績	派遣費用支援の実施	派遣費用支援の実施	派遣費用支援の実施	派遣費用支援の実施	
	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数	目標	(50名)	(80名)	(140名)	(141名)	
実績		25名	80名	76名	71名		
達成状況説明		地方大会2種目、九州大会9種目、全国大会6種目、延べ71人の児童・生徒に対し、運動競技や文化活動等の大会派遣に係る費用の支援ができた。 申請件数はR4年度28件からR5年度29件と増加し、支援数は目標値に届かなかったがおおむね達成できた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		84%	87.7%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		派遣人数は71人で、アンケートの結果によると「参加後、広い視野を持つ事ができた」と回答した児童生徒は100%、保護者も100%となり、目標値を達成できた。 また、「参加後、競技に対する意欲が向上した」と回答した児童生徒は100%、保護者も100%となり、「県外の高いレベルに触れる事で課題も見え、今後の練習につなげたい」、「今後もこのスポーツを更に頑張りたい」等の意欲向上の声もあり、成果を感じる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アンケート結果が目標値を超えることが出来た。 児童生徒の感想文からも向上心が育まれていることが分かった。 アンケートから県外大会が2回以上あるため複数回申請や宿泊費の助成希望があった。	事業の周知については学校と密に連携をとり、今後も継続して広報活動に努める。 複数回申請や宿泊費の助成については、より多くの生徒に補助金を交付するために上限の設定が必要だと考えるが、受益者との負担関係を考慮し慎重に検討をする必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>申請件数と予算の執行状況を随時確認し、事業の進捗に合わせた補正予算や変更交付申請手続きを行う。 引き続き学校や町広報誌、ホームページ等で事業の周知を行い、学校と密に連携を取ることで対象となる児童生徒の把握に努め、支援に取り組む。 複数回申請や宿泊費の助成については、事業の趣旨・目的等も鑑み、また受益者との負担関係を考慮しながら、町において慎重に検討をする必要があることから、他市町村等の事例等も含め調査・研究を行う。</p>		



資金の流れ、費目・点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣対象者については、南風原町県外派遣に関する助成金交付要綱に照らして決定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○支援金額については普通運賃額を超えないように比較し、適正に金額を決定している。予算の規模も適正であり、要綱に基づき必要なものに限定して交付している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者の負担も要綱に基づき実施しており、妥当であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業達成に必要な分の金額のみを支出し、妥当な金額で実施している。

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑩	南風原町幼稚園体育活動充実事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ		
担当部署名	教育部 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成28～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進		
事業内容	幼少期に運動する楽しさを実感してもらい、その後の運動習慣を身に付けられるよう、幼稚園児を対象に専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,729	1,743	1,798	1,895	1,895
		(b) 予算現額	1,729	1,549	1,798	1,895	1,840
		(c) 増減額(b-a)	0	-194	0	0	-55
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		1,729	1,549	1,798	1,895	1,840
	B. 執行済額		1,728	1,548	1,718	1,778	1,840
	うち交付金充当額		1,382	1,239	1,374	1,422	1,471
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.9%	99.9%	95.6%	93.8%	100.0%
予算の状況の説明		計画通り、プロポーザルにより業者を選定し、事業を執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	町立4幼稚園で専門講師による体育指導を行い、各園5歳児27回、4歳児9回実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートによる本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		93.14%	94.12%	94.07%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	運動する楽しさについて、園児337人中317人が体育遊びが好きと回答し(94.07%)、目標を上回る結果となった。保護者へのアンケートでは95.8%の保護者が運動能力が上がったと実感しており、98.7%の保護者が本事業は良い取り組みだと回答を得た。このことから、本事業は保護者や園児からも高い評価を得ており、あり方についても評価されている。						

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	南風原町各種大会派遣支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ			
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,200		1,200	1,200	1,739
		(b) 予算現額	1,200		1,200	1,200	1,739
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		1,200	0	1,200	1,200	1,739
	B. 執行済額		732		1,135	1,272	1,949
	うち交付金充当額		586		908	1,017	1,558
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		61.0%	#DIV/0!	94.6%	106.0%	112.1%
予算の状況の説明		年度途中で予算の不足が生じたため、軽微な変更申請により他事業より210千円流用し、計画通り事業が執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度		
	児童生徒の大会派遣の支援	目標	(35名)	(36名)	(83名)	()	
		実績	延べ53名	延べ50名	延べ77名		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	台風の影響等により、やむを得ず参加ができなかった生徒がいたが、運動競技大会及び文化関係大会に県代表として九州大会9種目、全国大会1種目に延べ77人の生徒を派遣することの支援ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(6年度)
	保護者アンケートで児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上)	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実績		100%	100%	100%	100%
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	本事業のあり方を検証するため保護者に対してアンケートを実施し、回答を集計した結果、全保護者から視野が広がるなど成長するうえで良い機会であるとの回答が得られた。また、夢や目標を持つようになったなどの変化があったとの回答が多数あった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・成果目標である保護者アンケートで児童生徒の視野が広がったと実感した割合80%に対して、実績は100%となっているため特に課題はないが、今後も学校と密に連携をとり、補助対象の児童・生徒の把握に努め、実績100%を継続できるようにする。</p>	<p>・補助対象の児童生徒全員への支援については、本制度の周知と学校と密に連携をとることで、うまく事業を推進できているので、改善の必要はないものと考えられる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・引き続き学校へ本制度の周知を行い、学校と密に連携をとることで、対象となる児童生徒の把握に努め、補助対象の児童・生徒全員への支援に取り組む。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3,898</td> <td style="text-align: center;">1,949</td> <td style="text-align: center;">1,558</td> <td style="text-align: center;">391</td> <td style="text-align: center;">1,949</td> </tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,898	1,949	1,558	391	1,949
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,898	1,949	1,558	391	1,949										
<pre> graph LR A[南風原町 1,949千円] --> B[補助金 1,949千円] B --> C[町内中学校 10件 1,949千円] C --- D[航空運賃又は港までの運賃への半額補助] C --- E[ほか、自己負担等(交付対象外経費) 1,949千円] </pre>														
資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、派遣費補助の取り扱い基準に基づき執行しており適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の完遂に必要な費用に限られており、適正であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係については、派遣費補助の取り扱い基準に基づき執行しており適正であった。											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	南風原町					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-⑬	学習者用端末整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ		
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	令和5年~令和13年	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒一人ひとりがICT機器の活用を行えるよう、町立小中学校の児童生徒数の増加に伴う、学習者用端末を整備し、ICT教育の充実を図る。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,980			
		(b) 予算現額	2,233			
		(c) 増減額 (b-a)	-7,747			
		(d) 繰越額	0			
		A. 計 (b+d)	2,233			
	B. 執行済額		2,233			
	うち交付金充当額		1,786			
	次年度繰越額		0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		町立小中学校の児童生徒数の増加に伴う、学習者用端末を整備し、ICT教育の充実を図った。児童生徒の人数について社会増が想定より伸びず7,747千円減額をしたが、執行率は100%で事業内容をすべて実施することができた。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況			
	学習者用端末の購入 小学校 : 12台 中学校 : 17台	目標	(小学校:12台 中学校:17台)	(-)	(-)	()
		実績	小学校:12台 中学校:17台			
	達成状況説明	町立小中学校の児童生徒数の増加に伴う、学習者用端末を計画通り整備し、児童生徒一人ひとりにICT教育の学習環境を提供することができた。				
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度		目標値(年度)
	各学校において、学習者用端末を使用した課題の達成率 80%以上	目標	()	(80%)	(-)	()
		実績		82.85%	-	
	進捗状況説明	3月に児童生徒に対し学年毎にランダムで抽出を行い、調査を実施した。その結果、82.85%の児童生徒が学習者用端末を使用した課題を達成し、目標を超えることができた。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>成果目標である「各学校において、学習者用端末を使用した課題の達成率80%以上」とした、調査では82.85%の結果となり、目標の80%以上を超えることができた。近年、コロナ禍の影響もありオンラインを活用した授業や学習が増え続けていることで、児童生徒のICTスキル向上にさらに繋がっているのではないかと考える。</p>	<p>今後も、児童生徒が増加に伴って一人ひとりの学習者用端末を整備し、早い時期からICTを活用した学習環境を提供することで、児童生徒のICTスキルの向上を図っていく。引き続き、成果目標を80%以上と設定し、様々なツールを活用した授業を行うなど、児童生徒が集中して授業を受けることができる環境を提供していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>近年、コロナ禍の影響もありオンラインを活用した授業や学習を行うなど、授業スタイルが大きく変化してきたが、今後も、オンラインの活用は継続して行われていくと考える。今後も引き続き、児童生徒を惹きつける授業を行えるよう、様々な授業方法を取り入れ、楽しく分かりやすい授業環境を構築していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,233</td> <td style="text-align: center;">2,233</td> <td style="text-align: center;">1,786</td> <td style="text-align: center;">447</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,233	2,233	1,786	447	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
2,233	2,233	1,786	447										
<pre> graph LR A[南風原町 2,233千円] --> B[備品購入費 2,233千円] B --> C[株式会社 興洋電子 2,233千円] C --- D[学習者用端末の整備 4小学校 2中学校] </pre>													
評価	点検項目	評価に関する説明											
○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○学習者用端末整備事業は指名競争入札を行っており、妥当であった。</p> <p>○事業に係る予算が適正に積算されており、予算規模は適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については事業における必要経費であり、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>											
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		南風原町				
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-①	南風原町観光景観美化整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部課名	経済建設部 都市整備課 教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	沖縄らしい風景を保持するため、道路及び公園の草刈りや樹木の剪定を行い魅力的な観光地としての景観形成を図る。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a) 当初予算額	6,782	34,482	45,288	30,159
	(b) 予算現額	12,720	42,462	35,925	30,536	35,283
	(c) 増減額(b-a)	5,938	7,980	-9,363	377	1,291
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	12,720	42,462	35,925	30,536	35,283
	B. 執行済額	13,492	42,417	35,187	29,012	35,560
	うち交付金充当額	10,794	33,933	28,149	23,209	28,477
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	106.1%	99.9%	97.9%	95.0%	100.8%
予算の状況の説明	・観光ルート及び公園の美化整備において、計画通り予算を執行し、事業を円滑に行う事ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光ルートの町道メンテナンス完了	目標	(18,400m)	(18,400m)	(18,400m)	(18,400m)
		実績	18,400m	18,400m	18,400m	18,400m
	公園6箇所の景観美化完了	目標	(公園6箇所)	(公園6箇所)	(公園6箇所)	(公園6箇所)
		実績	公園6箇所	公園6箇所	公園6箇所	公園6箇所
	フクギ並木の擁壁整備完了	目標	(L=40m)	(整備完了)	()	()
		実績	L=40m	整備完了		
	フクギ並木通りの実施設計完了	目標	()	(実施設計完了)	()	()
		実績		実施設計完了		
フクギ並木通りの整備完了	目標	()	()	(整備完了)	()	
	実績			整備完了		
達成状況説明	・景観美化作業員を14人雇用し、町道(18,400m)、公園(6箇所)、メンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を行うことで、沖縄らしい景観を保持し観光に貢献することができた。					

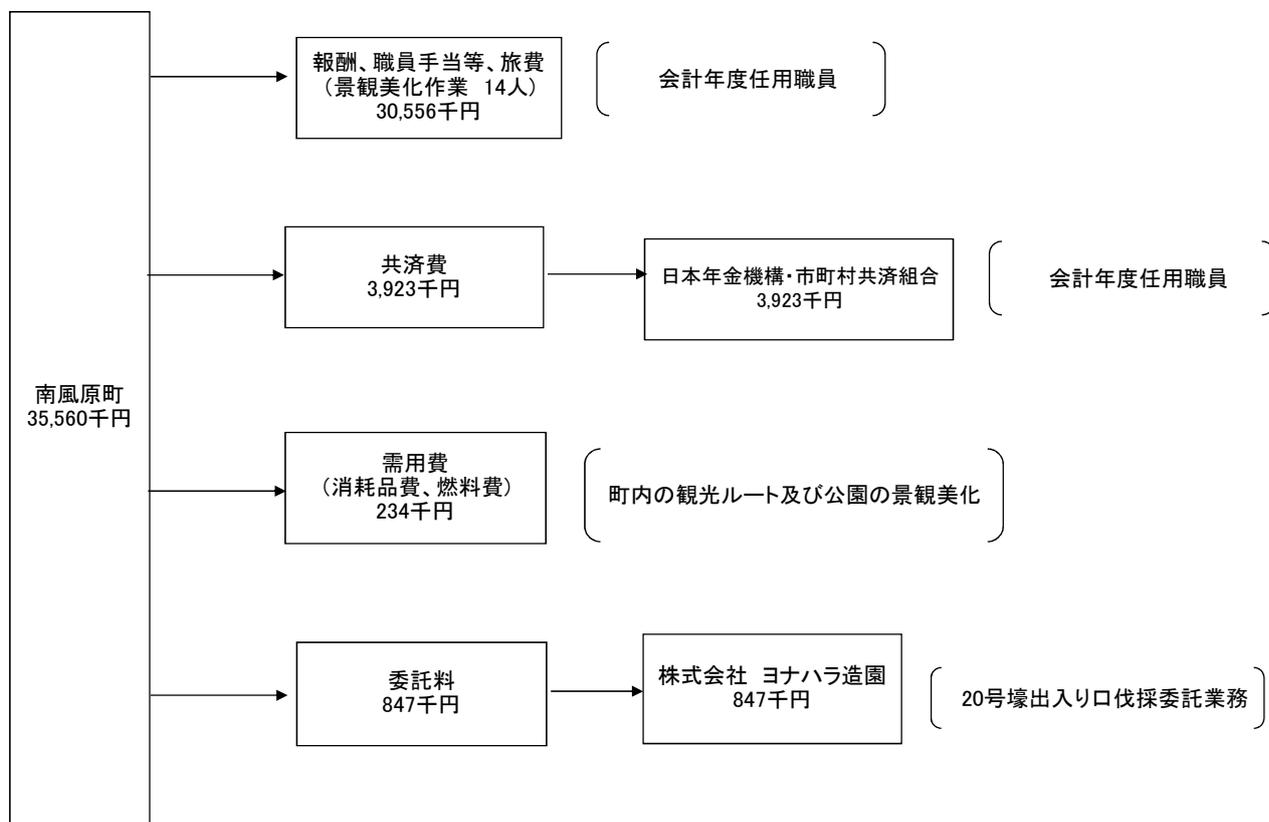
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績			92%	81%	86%	
		目標	()	()	()	()	()	()
実績								
進捗状況説明	<p>・道路美化に関するアンケートを行った結果、景観形成が図られたと思う割合が80%以上となっており、目標を達成する事ができた。</p>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・令和5年度のアンケート結果は、景観形成が図られているが80%以上で目標達成であるが、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、更なる観光客が訪れることが想定される、夏場の雑草等の繁茂が著しいため景観美化が追いついていない。</p> <p>・各清掃ボランティア団体と連携を図り、観光ルートである道路や、公園の清掃美化の強化を図る。</p>	<p>・アンケートによる指摘のあった箇所を重点的に改善し観光景観美化の強化を図る。</p> <p>・各清掃ボランティア団体と連携を図っているが、今後も引き続き、観光ルートである道路や、公園の清掃美化について協力を呼びかける。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・観光地周辺自治会や道路・公園清掃ボランティア団体に呼びかけ、道路植栽柵に花植えや、清掃等の景観美化をするよう引き続き働きかけを継続する。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
35,567	35,560	28,447	7,113	7



資金の用途の流れ、点検、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施し、支出先である景観美化作業員は、町の基準で選定雇用しており妥当だと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は町の基準で積算されており適正と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	ヒーローのまちづくり事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	本町の観光振興及び地域活性化のため、南風原町が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の観光情報発信イベントなどを定期的に行い、観光客を本町へ誘導する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,440	7,436	7,436	7,436	11,440
		(b) 予算現額	7,440	7,436	7,436	5,467	11,110
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	-1,969	-330
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		7,440	7,436	7,436	5,467	11,110
	B. 執行済額		6,699	7,348	7,348	3,795	9,900
	うち交付金充当額		5,359	5,878	5,878	3,036	7,920
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		90.0%	98.8%	98.8%	69.4%	89.1%
予算の状況の説明		当初計画していた事業は概ね実施することができたが、約1か月職員1人が採用できなかった等の理由で執行額は減となった。しかし、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	イベント開催:1回	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
		実績	3回	2回	4回	3回	
脚本賞舞台化:1回	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)		
	実績	1回	1回	1回	1回		
達成状況説明	「イベント開催」については、金城哲夫氏生誕85周年事業と称し金城哲夫氏にちなんだウルトラマンショーなど行い多くの来場客があった。その他金城哲夫展やウルトラマン上映会、飛び安里凧上げ大会等、各イベントを実施することができた。 商品開発においては金城哲夫ゆかりの地として 町特産品琉球餅・南風原花織とウルトラセブンのコラボ商品として「ウルトラセブнкаずり」を製作し、多くのメディアが集まるなか記者発表を行った。 舞台化は金城哲夫氏をテーマに行い、劇の内容を収録し、YouTubeにて配信を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	目標	()	(3,250人)	(3,250人)	(3,250人)	()
		実績		1,136人	3,117人	2,990人	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数について、金城哲夫氏生誕85周年事業においてウルトラマンショー等を行い、ウルトラマン関連上映会、金城哲夫展等を開催し、金城哲夫氏生誕85周年事業(1,206人)凧あげ大会開催(350人)、上映会(274人)、舞台は金城哲夫氏をテーマに行い、来場者634人、YouTube視聴者526人、計1,160人となった。 以上総合計で2,990人となり、目標には達せず、ウルトラマンショー等権利関係のためYouTube配信ができなかったため去年よりも減少した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	金城哲夫氏生誕85周年事業において金城哲夫氏ゆかりの方々を中心にトークショー等を開催したが、内容にこだわりすぎ“大人向け”なものになったため想定より来場者が少なかった。また同様に、周知活動が弱かったことも理由に挙げられる。	来場者が増えるようなイベントを実施したり、周知活動方法の見直しが必要と考える。
今後の取り組み方針		
金城哲夫氏関連イベントのトークショーについて多くの来場者と呼ぶため歴代ウルトラマンに出演した俳優から数名を招聘する。また、イベントについて幅広い周知を行うため、周知活動方法を検討する。		

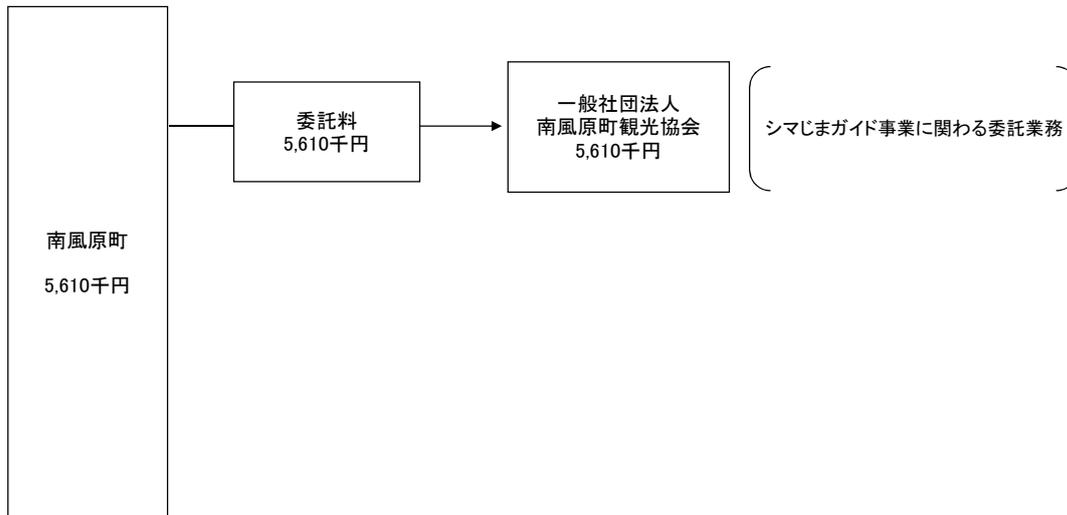
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">9,900</td> <td style="text-align: center;">9,900</td> <td style="text-align: center;">7,920</td> <td style="text-align: center;">1,980</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,900	9,900	7,920	1,980	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,900	9,900	7,920	1,980	0										
<pre> graph LR A[南風原町 9,900千円] --> B[委託料 9,900千円] B --> C[一般社団法人 南風原町観光協会 9,900千円] C --- D["(ヒーローのまちづくり事業に係わる委託業務)"] </pre>														
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
資金の流 れ、費 目・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約について、地方自治法施行令に基づき随意契約を行っており、妥当である。 ○予算規模は、事業計画に基づき予算執行していることから適正であると判断する。 ○費目・使途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	シマじまガイド事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	訪問客に南風原町の魅力を知っていただくため、着地型観光メニューとして「シマじまガイド」(名所案内巡り)を実施し、町内外からの観光客等を受け入れるシステムを構築し、観光振興を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,521	10,516	10,516	10,516	10,516
		(b)予算現額	10,521	10,516	10,516	10,516	6,120
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	-4,396
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	10,521	10,516	10,516	10,516	6,120
		B.執行済額	8,096	8,492	7,964	8,294	5,610
		うち交付金充当額	6,476	6,793	6,371	6,635	4,488
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	77.0%	80.8%	75.7%	78.9%	91.7%
予算の状況の説明	当初計画していた事業は概ね実施することができたが、職員1人が後半4か月しか採用することができず、残り2人もフルタイム募集に応募がなくパートタイム職員で対応したため、予算額の減となった。しかしながら活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ガイド養成新規2名	目標	(2名)	(2名)	(2名)	(2名)	
		実績	2名	2名	5名	3名	
	シマじまガイド開催12回	目標	(12回)	(12回)	(12回)	(12回)	
		実績	4回	11回	7回	11回	
達成状況説明	・地域ガイド研修を7回開催しガイドのスキルアップを図った。その結果3名の新規のガイド養成を行うことができた。 ・シマじまガイドは地域ガイドの身内に不幸や受入側(区長)が多忙によりスケジュールを合わせるできないなど、アクシデントが多発し1回中止を余儀なくされ、12回開催予定のうち11回開催となったが、前年度より回復することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	シマじまガイド事業参加者:1,700人	目標	()	(1,700人)	(1,700人)	(1,700人)	()
		実績		149人	1,128人	1,253人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・シマじまガイド事業について、ツアー参加者人、イベント参加者人、オンラインでのイベント参加者人の合計1,253人という結果になり、目標には届かなかったが、前年度より増やすことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に届かなかった原因として、ツアーの認知度がまだ低いと考えられる。 ・今年度において緋の道ツアー(字本部)のツアーのPR動画を英語のテロップを追加してYouTubeにて作成・公開した。しかし、外国人観光客向けの観光案内に對しての対策がまだ不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を更に活用し、動画配信も増やす等、情報発信を強化することで参加者の増に繋げる。 ・外国人(インバウンド)の対応策を実施する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>引き続き観光メニューの開発に取り組み、情報発信を強化する。また外国人観光客への対応として、パンフレットの一つを英語版で作成し観光案内に活用し、関係各所へ設置、南風原町観光協会ホームページ等に掲載する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,610	5,610	4,488	1,122	0



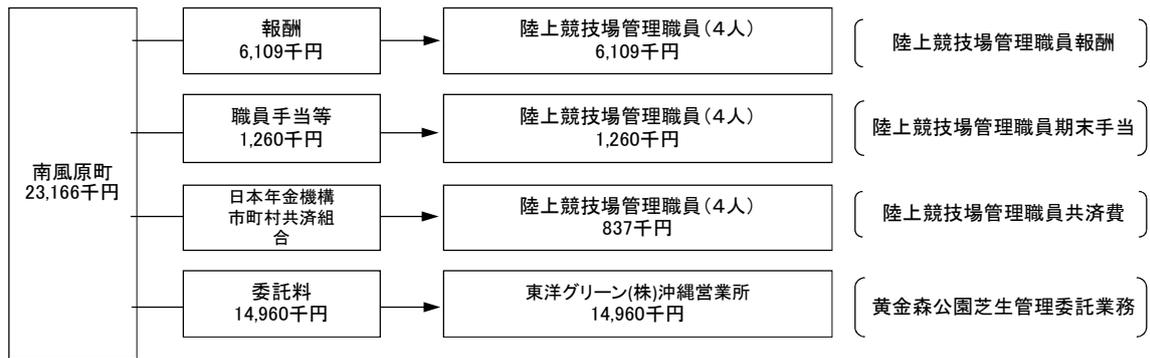
資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約について、地方自治法施行令に基づき随意契約を行っており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に基づく事業執行を行い、また支出先の選定は、上記説明のとおり妥当であると判断していることから予算規模は適正であると判断する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 黄金森公園スポーツ施設活性化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(9)-ア		
	担当部署名	教育部 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成25~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	
事業内容	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	20,168	24,583	25,178	23,346
		(b) 予算現額	10,008	20,268	24,583	25,566	23,162
		(c) 増減額(b-a)	8	100	0	388	-184
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		10,008	20,268	24,583	25,566	23,162
	B. 執行済額		10,008	20,027	22,548	25,254	23,166
	うち交付金充当額		8,006	16,021	18,037	20,203	18,532
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	98.8%	91.7%	98.8%	100.0%
予算の状況の説明		当初計画通り、管理職員の配置、黄金森公園芝生管理委託業務を執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	・黄金森公園陸上競技場管理職員の配置	目標	(4名)	(4名)	(4名)	(4名)	
実績		4名	4名	4名	4名		
達成状況説明	Jリーグキャンプ受入のため、練習場芝生整備を実施し、陸上競技場管理員を配置したことによりスポーツ施設が充実し、サッカーJリーグチームの春季キャンプ、ソフトボールチームキャンプ、県外大学等の陸上競技合宿を誘致した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,300人	目標	()	(1,300人)	(1,300人)	(1,300人)	()
		実績		721人	1,094人	1,601人	
	・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:6,000人	目標	()	(6,000人)	(6,000人)	(6,000人)	()
		実績		0人	2,514人	2,615人	
進捗状況説明	・合宿利用者数については、サッカーJリーグチーム春季キャンプ91人、サッカー自主トレ3人、ソフトボールチーム30人、県外大学等の陸上競技合宿で1,477人、合計1,601人が利用した。 (尚、利用者数計算方法が団体によって実人数とのべ人数が混在しており、実人数では521人となっている。) ・J1リーグ1チームの春季キャンプが実施され2,615人の来場者となった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>スポーツ合宿利用団体数は、昨年度の21団体から20団体へと減少となった。利用者数は昨年度の1,094人から1,601人へ増加となった。</p> <p>合宿実施種目としてはサッカー、陸上、ソフトボールの3種目の受け入れとなった。</p> <p>新規チームの受け入れについて、次年度以降も継続した受け入れが行えるよう、利用者の要望などをヒアリングを行う必要がある。</p> <p>また、新たな種目・チームの受け入れについても検討しながら誘致に取り組んで行くことが必要となる。</p> <p>来場者数については、コロナ禍以降初めての制限のないキャンプだったが、目標人数を達成することができなかった。キャンプスケジュールや練習試合の対戦相手の情報が公開されるのが直前となることや、来場者も楽しめる継続したキャンプ地づくりができていないことも来場者が増加しない要因と考えられる。</p>	<p>これまで継続的に受け入れを行っているスポーツ合宿利用団体については、細かくヒアリングを行い連携することでリピーターとなることに繋がっている。新規チームに対しても、合宿後に要望等を聞き取り、施設環境をより充実させることで継続的な合宿利用に繋げることができる。</p> <p>また、新たな種目・チームの受け入れを目指し、各種目の練習環境や合宿期間などを調査研究し、施設に合ったチームの受け入れを目指し取り組んで行く必要がある。</p> <p>キャンプスケジュールを可能な限り早く、多くの方に発信することや、キャンプ来場者を対象にしたイベントの開催や特典を設けるなど、実現に向けて関係者と連携していくことにより、魅力あるキャンプ地をつくっていく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>スポーツ合宿利用団体と細かく調整を行い、利用する際の要望や、利用後の反省点などを踏まえ、施設環境整備も含めた受け入れ体制を充実させていくことにより、継続的な合宿利用に繋げていく。</p> <p>次年度以降、既存の受け入れチームの継続実施に加えて、新たな合宿種目であるラグビー合宿の実現に向け、施設の充実をPRするとともに、ラグビーチーム関係者と連携をとりながら推進していく。</p> <p>来場者を対象にしたイベント等の実現に向けて、キャンプ実施チームや観光を含めた各種団体と連携をとりながら事例調査から実施案の作成まで進めていく。また、キャンプ関連の情報発信についてSNSの活用等も含め、誘客につなげる周知活動に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
23,230	23,166	18,532	4,634	64

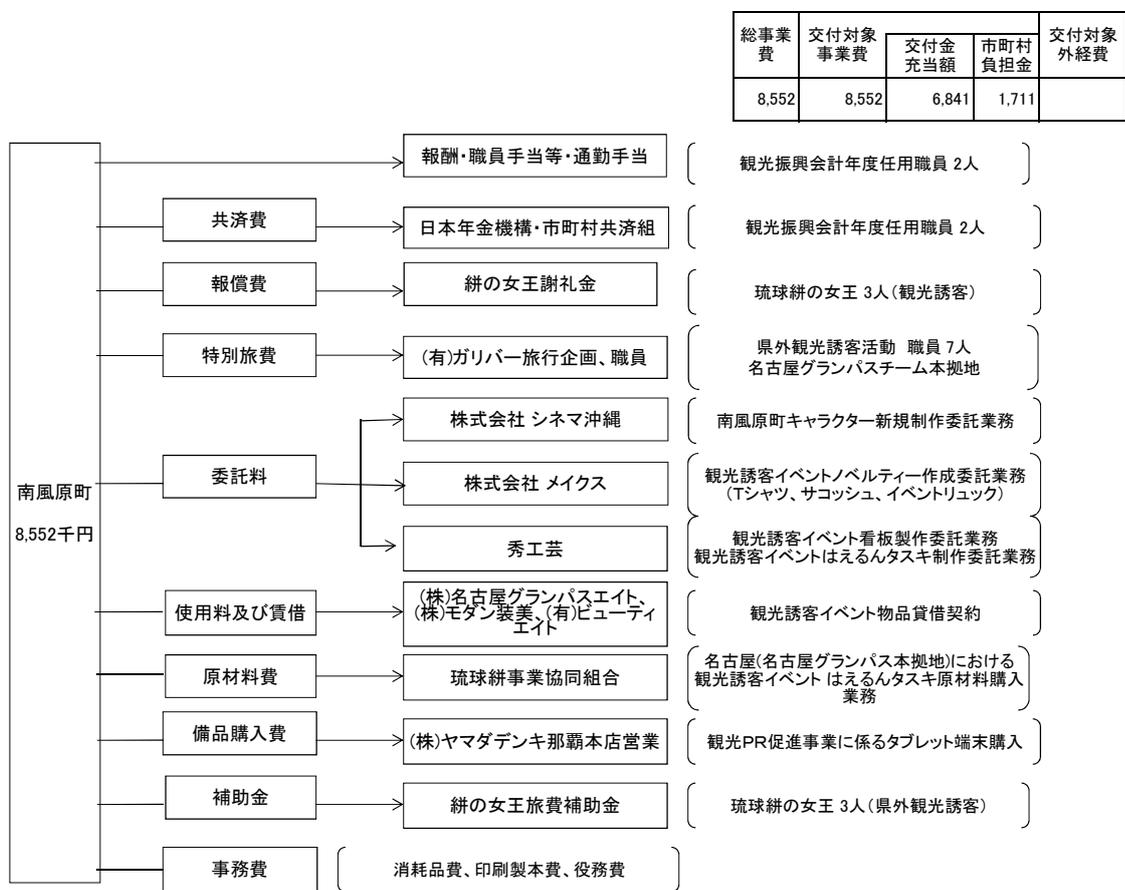


資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 流 れ 、 費 目 ・ 使 途 の 流 れ 、 費 目 ・ 使 途 の 流 れ	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各契約等については地方自治法施行令に基づく随意契約及び指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に基づく事業執行を行い、支出先の選定についても妥当であったことから、予算規模は、適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されており、適正であったと考える。

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	南風原町観光PR促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、はえるんや野菜のお友達を活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,360	4,428	4,914	4,990	6,246
		(b) 予算現額	3,360	4,424	4,914	4,990	9,538
		(c) 増減額(b-a)	0	-4	0	0	3,292
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	3,360	4,424	4,914	4,990	9,538
		B. 執行済額	3,360	4,398	4,286	4,798	8,552
		うち交付金充当額	2,688	3,518	3,428	3,838	6,841
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	99.4%	87.2%	96.2%	89.7%
予算の状況の説明	SNS発信を通年において実施し、県外観光誘客活動や自らイベントを企画するなどし、南風原町及び南風原町観光のPRを行った。計画していた事業内容を概ね実施し適正に予算執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	はえるん等利用数:50件	目標	(50件)	(50件)	(50件)	(50件)	
		実績	40件	28件	38件	44件	
	イメージキャラクターによる観光PR活動(1年間で60回)	目標	(100回)	(100回)	(100回)	(60回)	
		実績	58回	43回	89回	95回	
県外誘客活動(誘客イベント)の実施	目標	()	()	()	(実施)		
	実績				実施		
達成状況説明	・はえるん等利用数(ログ申請数)は目標値には届かなかったが、前年度より増加している。 ・イメージキャラクター『はえるん』を活用した観光PR活動(出勤回数)については、自らイベント等を企画・開催することはもちろん、各字イベント出演をPRしたところ各字の夏祭りなどのイベント出演数を伸ばすことができた。また、はえるんの認知度を町以外から広めていくため、近隣市町村のイメージキャラクターと共にSNS発信を行った。以上の事から目標を大幅に上回る事ができた。 ・春季キャンプを受け入れている名古屋グランパスとのつながりをさらに深め次のキャンプ実施につなげる事及びチームファン層を誘客するため、チーム本拠地(名古屋)における南風原町PRイベントを実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
		目標	()	()	()	(64,800件)	()
	SNS(インスタグラム)閲覧数:64,800件	実績				188,536件	
		目標	()	(207,500件)	(207,500件)	()	()
観光サイトアクセス数:207,500件	実績		109,579件	112,863件			
	進捗状況説明	・自らイベント等を企画・開催する事によりSNSを活用し、また、春季キャンプを受け入れている名古屋グランパスチーム本拠地(名古屋)における観光誘客イベントにおいて町をPRするため、インスタグラムのフォロワーを増やす取組を行ったことにより目標達成ができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・これまでの活動により、町イメージキャラクターはえるんは町内ではある程度の認知度があるが、町外、県外では以前認知度が低く、同様に県外での本町の認知度が低いという課題があったため、令和5年度は県外での誘客イベントや地域の伝統芸能とのコラボやInstagramのフォローを増やす取組を行った。また、広報活動についてSNSでの発信を強化したことなどが、目標達成の要因と考える。	・県外での本町の認知度を向上させるため、県外での観光誘客活動に力を入れる必要がある。
	今後の取り組み方針	
県外において町イメージキャラクターはえるんの活動及び町の観光PRを行う。具体的には高知県須崎市で行われるご当地キャラまつりIN須崎に出演し、PR活動を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費用 点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員は面接によりしかるべき人物を採用しており、各契約等については地方自治法施行令に基づく随意契約及び指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の遂行に限られた経費となっており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○「琉球緋の女王の業務等に関する要綱」により、町外への行事に派遣する場合の交通費、宿泊費等は、行事主催者が支払うものとされているため、県外誘客イベントへの参加に係る旅費実費分に係る補助金については、妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について確認し、適正であった。

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-(ウ)			
担当部署名	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施(予定)年度	令和2~令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	中小企業等の経営基盤の強化による「稼ぐ力」の向上 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	企業誘致等による産業振興を図るため、事業化に向けた検討、関係企業からのヒアリング等を行い、地権者組織結成の機運を高める意見交換会を実施し、土地区画整理事業組合施行を目指す。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R13年度以降)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,895	9,823	5,000	4,994	
		(b) 予算現額	4,510	9,130	4,576	4,378	
		(c) 増減額(b-a)	-385	-693	-424	-616	
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	4,510	9,130	4,576	4,378	
		B. 執行済額	4,510	9,130	4,576	4,378	
		うち交付金充当額	3,608	7,304	3,660	3,502	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	
	予算の状況の説明	予算増減額616千円減額は入札差金によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	事業化の検討	目標	()	()	(実施)	(実施)	
		実績			実施	実施	
	関係地権者への説明会	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	企業ニーズヒアリング	目標	()	()	()	(実施)	
実績					実施		
達成状況説明	・事業化の検討をおこない問題点の確認ができた。 ・北インターチェンジ周辺に興味のある企業へのヒアリングを実施できた。 ・関係地権者への説明会や意見交換及び現在の状況を伝えるまちづくりニュースを地権者へ送付した。						

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	南風原町商品展開力強化支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-(ウ) 中小企業等の経営基盤の強化による「稼ぐ力」の向上		
担当部署名	経済建設部産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(7)		
事業内容	本町の中小・小規模事業者が地域資源を活用して製造及び販売する商品を消費者ニーズにあった魅力ある商品へブラッシュアップするための支援を行う。また、商品の製造ラインや販売方法の課題を専門家のアドバイス等により解決を図るとともに、ブランド認証及びプロモーションにより県内外の消費者へ周知し、地域産品の売上の拡大を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	15,000	14,993	14,993	15,356	17,809
		(b)予算現額	15,000	14,993	14,993	15,356	17,809
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	15,000	14,993	14,993	15,356	17,809
	B.執行済額		14,531	14,047	14,377	15,114	17,809
	うち交付金充当額		11,624	11,237	11,501	12,091	14,247
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.9%	93.7%	95.9%	98.4%	100.0%
予算の状況の説明		販路開拓やブランド認証制度の運用業務等を委託し、予定通り事業執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	商品改良相談(延べ50件)	目標	()	()	(延べ50件)	(延べ50件)	
		実績			延べ47件	延べ72件	
	企業マッチング相談(10件)	目標	()	()	(10件)	(10件)	
		実績			3件	15件	
	品質向上セミナーの実施(3回)	目標	()	()	(3回)	(3回)	
		実績			3回	2回	
	販路開拓セミナーの実施(2回)	目標	()	()	(2回)	(2回)	
		実績			1回	3回	
	地域産品の販路開拓(テスト販売の実施5回)	目標	()	()	(5回)	(5回)	
		実績			5回	16回	
	優れた特産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証(更新含む5件)	目標	()	()	(5件)	(5件)	
		実績			9件	8件	
	商談会など催事への出展(2回)	目標	()	()	()	(2回)	
		実績				2回	
	【参考指標】町内事業者を対象に商品開発に関するワークショップの開催(5回)	目標	(5回)	(5回)	()	()	
		実績	15回	5回			
	【参考指標】ブランド認証制度の構築・運用	目標	()	()	()	()	
		実績					
【参考指標】28年度に認証した商品のPR	目標	()	()	()	()		
	実績						
【参考指標】優れた特産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証(2件)	目標	(2件)	(2件)	()	()		
	実績	2件	9件				
【参考指標】特産品の販路開拓(テスト販売出展等5回)	目標	(5回)	(5回)	()	()		
	実績	5回	6回				
【参考指標】販路開拓セミナーの実施(6回)	目標	(6回)	(6回)	()	()		
	実績	6回	6回				
達成状況説明	県外の販路開拓に課題を感じている事業者を支援するため、品質向上セミナーの実施回数を1回減し、県外視察研修を1回実施した、その他の活動目標については予定通り実施することができた。						

R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (5年度)
						(4%以上)
改良商品の販売向上率(個数):前年度比4%以上UP	目標	()	()	(4%以上)	()	(4%以上)
	実績			44.2%		
商品改良の実施	目標	()	()	(実施)	(実施)	()
	実績			実施	実施	
「はえばる良品」の認証の実施	目標	()	()	(実施)	(実施)	()
	実績			実施	実施	
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 びよびよシフォン4,486個	目標	()	(4,486)	()	()	()
	実績		5,082			
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 ゆめかなえはしパウンドケーキ473個	目標	()	(473)	()	()	()
	実績		72			
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 澁しカボチャ使って味わうスープの素2,100個	目標	()	(2,100)	()	()	()
	実績		2,100			
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 はえばるのまきもの95個	目標	()	(95)	()	()	()
	実績		105			
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 ウオッチナー116個	目標	()	(116)	()	()	()
	実績		70			
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 SANGOくっしょん803個	目標	()	(803)	()	()	()
	実績		434			
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 沖繩キビまる豚1,260個	目標	()	(1,260)	()	()	()
	実績		1,570			
進捗状況説明	<p>令和4年度に改良を行った3商品は全て販売個数が増加し、合計販売個数を比較した販売向上率(前年度比)は、44.2%増であった。</p> <p>令和5年度は商品改良5件と「はえばる良品」の認証8件(内、再認証2件)を行った。</p> <p>本事業は後年度に効果が発現する事業であることから、令和5年度の成果目標は、令和6年度の販売向上率(個数)を指標としている。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・令和5年度の内閣府期中点検において、消費者ニーズの把握のため、県内外のイベントへの出展等、販路拡大活動を積極的に実施し、顧客ニーズの把握に努めるよう助言があった。</p> <p>・コロナ禍後の消費者志向の変化や原材料価格の上昇など外部環境の変化が生じたが、県内外でその動向を捉え、専属職員の配置や必要に応じて専門家の招聘や企業マッチングを実施することで、外部環境の変化に対応した商品改良を行った。また、専門家で組織する「はえばる良品選定委員会」を開催し、新たにはえばる良品の選定を行った。</p>	<p>コロナ禍が一定程度収束したことから、イベントへの出展は増えているものの、町内での出展が多い状況のため、町外、県外のイベントへの出展や視察研修を増やし、最新トレンド・市場動向、より幅広い顧客ニーズを把握する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
商品改良、企業マッチング相談等も引き続き実施しながら、積極的に県内外の催事等への出展、視察研修等を実施することで、最新トレンド、市場動向、顧客ニーズの把握に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 南風原町 17,809千円 </div>	→	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 委託料 17,809千円 </div>	→	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 南風原町商工会 17,809千円 </div>										
					(「南風原町商品展開力強化支援事業」に係る委託業務)									
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,809</td> <td>17,809</td> <td>14,247</td> <td>3,562</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	17,809	17,809	14,247	3,562	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
17,809	17,809	14,247	3,562	0										

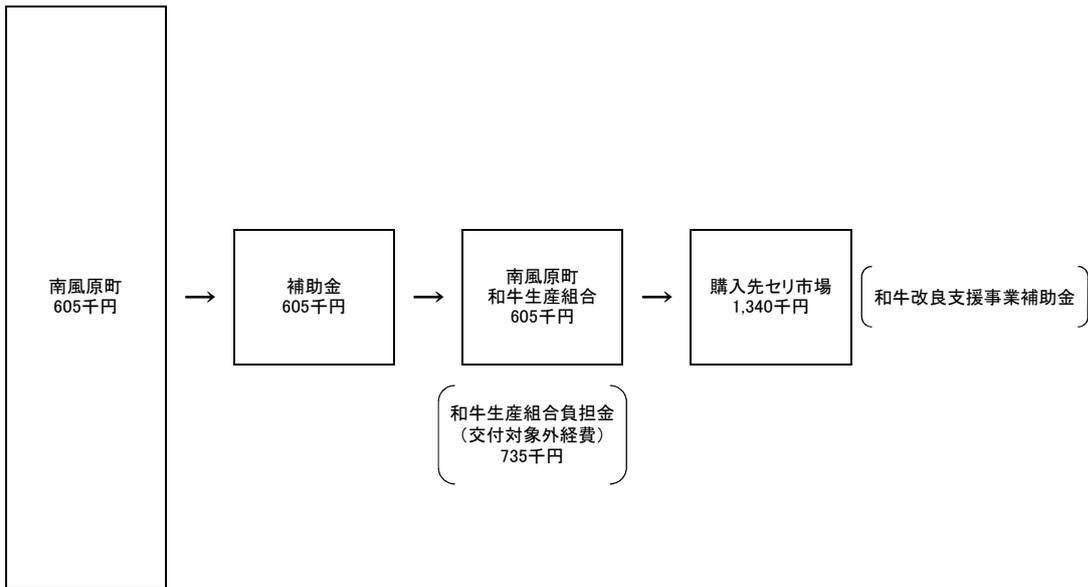
資金の流 れ、 点 検、 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定については地方自治法施行令に基づく随意契約により実施しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の遂行に限られた経費となっており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、額の各提示において事業目的達成の観点から必要なものか等について、書類により確認を行っており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧ 南風原町和牛改良支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア		
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成27~令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の確立 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	農家の経営安定化に向け、子牛の品質向上により高価格で出荷できるよう優良母牛導入経費の一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	(a) 当初予算額	2,000	1,000	1,000	1,000		
	(b) 予算現額	1,000	930	812	605		
	(c) 増減額(b-a)	-1,000	-70	-188	-395		
	(d) 繰越額	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	1,000	930	812	605		
	B. 執行済額	954	930	812	605		
	うち交付金充当額	763	744	649	483		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	95.4%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	予算減額395千円は、導入牛が当初計画より安価で落札できたことによる。優良繁殖雌牛を2頭導入し、当初計画を達成した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	優良母牛導入(2頭)の導入支援完了	目標	(2頭)	(2頭)	(2頭)	(2頭)	
		実績	2頭	2頭	2頭	2頭	
	達成状況説明	目標	()	()	()	()	
実績							
計画どおり優良繁殖雌牛2頭の導入を支援することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)110%、(去勢)110%以上	目標	()	(牝)104% (去勢)117%	(牝)110% (去勢)110%	(牝)110% (去勢)110%	()
		実績	/	(牝)112.56% (去勢)111.97%	(牝)105.29% (去勢)108.7%	(牝)88.03% (去勢)103.57%	/
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績	/				/
進捗状況説明	・今年度は牝牛、去勢牛ともに発育不良の個体が平均販売価格を押し下げたため達成できなかった。 【導入対象農家の子牛平均落札価格実績(南部家畜市場提供)】 導入牛 (A)447,883円(牝6頭)、554,033円(去勢7頭) 非導入牛 (B)508,792円(牝17頭)、534,954円(去勢17頭) 価格差(A/B) = 88.03%(牝)、103.57%(去勢)						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・世界的な物価高騰と円安の進行により飼料価格が高騰し、子牛買い手の買い控えが続き、令和3年度から子牛価格の下落が続いている。</p>	<p>・昨年に比べて出荷頭数及び価格差目標実績の低下がみられるため、引き続き飼養管理技術向上、優良母牛の更新が必要である。また、発育不良の要因を検証し、改善を図る。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>関係機関と協力して飼養管理技術の向上と優良母牛の更新を図るため、農家への支援を継続していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,340	605	483	122	735



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は町内農家で構成された団体であり、選定は妥当であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はあるものの、セリによる落札であるため妥当な規模の範囲内と判断した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である農家は総事業費の5割以上を負担しており、事業内容からして妥当であると判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即した必要なものであると判断した。

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	琉球かすり会館機能強化事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-(エ)			
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統工芸の振興		
事業内容	町の伝統的工芸産業の活性化のため、琉球かすり会館の展示ホールに産業用除湿機を導入し、「琉球絣」、「南風原花織」の展示販売・保管の環境改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度					
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,925				
		(b) 予算現額	1,265				
		(c) 増減額(b-a)	-660	0	0	0	
		(d) 繰越額	0			0	
		A. 計(b+d)	1,265	0	0	0	
	B. 執行済額		1,265				
	うち交付金充当額		1,012				
	次年度繰越額		0			0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		当初3台の除湿機導入を予定していたが、導入場所に適した台数を再検討した結果1台減の2台が適当となったため、予算660千円を減額した					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度				
	琉球かすり会館への産業用除湿機の導入工事	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	2台の除湿機の導入工事を実施し、琉球かすり会館の機能強化を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度		目標値(年度)	
	琉球かすり会館における「琉球絣」、「南風原花織」の反物の売上高伸び率7%以上	目標	()	(7%以上)	()	()	()
		実績		-21%			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	反物の売上高伸び率は、各工房からの委託販売の減等の影響により、売上高が減少したため、目標を達成できなかった。					

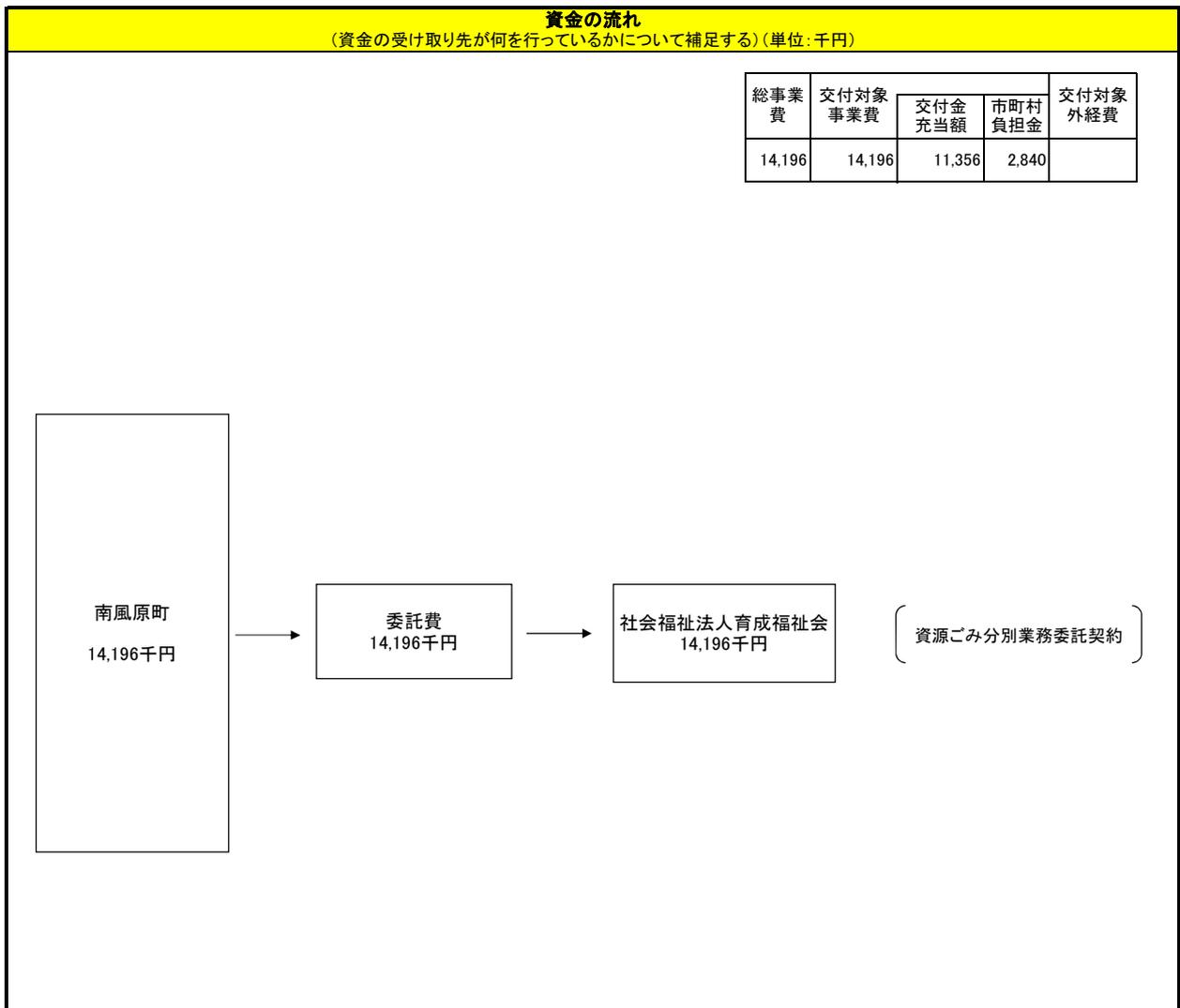
市町村名		南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-① 草木リサイクル事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-1-(1)-イ			
	総務部 住民環境課		事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会生活における資源循環の推進		
担当部署名					Ⅲ-10-(1)			
事業内容	草木廃棄物を利用した「循環のシステム」を構築するため、町内家庭から出る草木を堆肥化し、活用する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,508	8,275	10,741	9,140	13,374	
		(b) 予算現額	7,560	8,275	10,741	9,140	9,374	
		(c) 増減額(b-a)	1,052	0	0	0	-4,000	
		(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)		7,560	8,275	10,741	9,140	9,374	
	B. 執行済額		7,919	10,287	7,974	9,201	8,538	
	うち交付金充当額		6,335	8,229	6,379	7,360	6,830	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		104.7%	124.3%	74.2%	100.7%	91.1%	
予算の状況の説明		当初想定より下回る見込であったため、4,000千円予算を減額し、おおむね事業計画に近い額の執行ができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	町内から排出される草木を堆肥化することで、リサイクル量の増を図る。		目標	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	
			実績	増	減	減	減	
	町内から排出される草木の堆肥化完了		目標	(堆肥化完了)	(堆肥化完了)	(堆肥化完了)	(堆肥化完了)	
			実績	堆肥化完了	堆肥化完了	堆肥化完了	堆肥化完了	
達成状況説明		町内の各家庭、地域の清掃活動から排出された草木を収集し、484tを堆肥化することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):509t		目標	()	(435t)	(516t)	(509t)	()
			実績		443t	481t	398t	
	町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):105t		目標	()	(105t)	(106t)	(105t)	()
			実績		90t	98t	86t	
	進捗状況説明		家庭系草木は、令和5年8月の大型台風の影響により、委託事業者より受入休止依頼があったことにより、目標の509tより111t少ない398tのリサイクル量となった。また、町内一斉清掃草木については目標の105tより19t少ない86tをリサイクル量となった。両方とも目標は達成できなかったが、草木のリサイクル・堆肥化により循環型社会の構築につなげることができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・草木の排出量が増えると異物混入が多くなることから、収集の際に異物混入がないかチェック体制を強化する必要がある。 ・実績値は目標値を下回っており、その要因として令和5年8月に県内において多大な被害を受けた台風6号の影響により処理委託業者が一時的に草木処理受入れを休止したことが挙げられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異物混入を減少させるため、作業員による収集時や個人による自己搬入時の分別を徹底させる必要がある。 ・目標値は過去の平均値から積算していることから、実績値との乖離が想定されるので、今後も目標値の積算について精査していく。
	今後の取り組み方針	
<p>引き続き収集時に収集員によるチェック作業を行うとともに、草木の施設への自己搬入についても異物混入がないよう受入作業担当者と連携して取り組んでいく。 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図るとともに、過去の実績を参考に今後の見込みを推計した目標値を設定していくようにする。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	8,538	8,538	6,759	1,779	
<pre> graph LR A[南風原町 8,538千円] --> B[委託費 5,698千円] A --> C[委託費 2,583千円] A --> D[役務費 168千円] A --> E[使用費 89千円] B --> B1[街クリーン株式会社 5,698千円] C --> C1[株式会社 美玉開発 2,583千円] D --> D1["(株)開邦工業 168千円"] E --> E1[那覇市 89千円] B1 --- B2["(草木処理運搬委託契約)"] C1 --- C2["(草木処理運搬委託契約)"] D1 --- D2["(計量手数料)"] E1 --- E2["(ヤード使用料)"] </pre>					
資金の流れ、点検、評価	評価	点検項目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○地方自治法施行令に基づく随意契約により実施しており、妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算執行率は草木の搬入量の範囲内で適正な量であったため予算規模も適正であった。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費用・使途も事業にかかる経費で真に限定的である。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	環境保全3R推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-イ			
担当部署名	総務部 住民環境課	事業実施 (予定)年度	令和1~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	社会生活における資源循環の 推進 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	本町の一般世帯から回収された資源ごみを細分化したうえで分別作業を実施しリサイクルすることで環境負荷の少ない循環型社会を形成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,265	9,382	11,304	13,000	14,196
		(b) 予算現額	4,265	9,382	11,304	13,000	14,196
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	4,265	9,382	11,304	13,000	14,196
	B. 執行済額		4,264	9,381	11,303	13,000	14,196
	うち交付金充当額		3,411	7,505	9,042	10,399	11,356
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおりの執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	町内から排出される資源ごみを分別しリサイクル量の増加をはかる。	目標	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	()	
		実績	増	増	減		
	町内から排出される資源ごみを分別及びリサイクルの完了	目標	(分別及びリサイクルの完了)	(分別及びリサイクルの完了)	(分別及びリサイクルの完了)	(分別及びリサイクルの完了)	
		実績	分別及びリサイクルの完了	分別及びリサイクルの完了	分別及びリサイクルの完了	分別及びリサイクルの完了	
達成状況説明	計画どおり資源ごみを分別することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の収集分別量1,079t	目標	()	(703t)	(1,200t)	(1,079t)	()
		実績		662t	870t	888t	
	廃食油の収集分別量 22,000ℓ	目標	()	(18,317ℓ)	(19,500ℓ)	(22,000ℓ)	()
		実績		21,941ℓ	15,833ℓ	11,102ℓ	
	進捗状況説明	資源ごみは目標の1,079tを下回ったが888tを分別することができた。廃食油は目標の22,000ℓを下回ったが11,102ℓを分別することができた。					

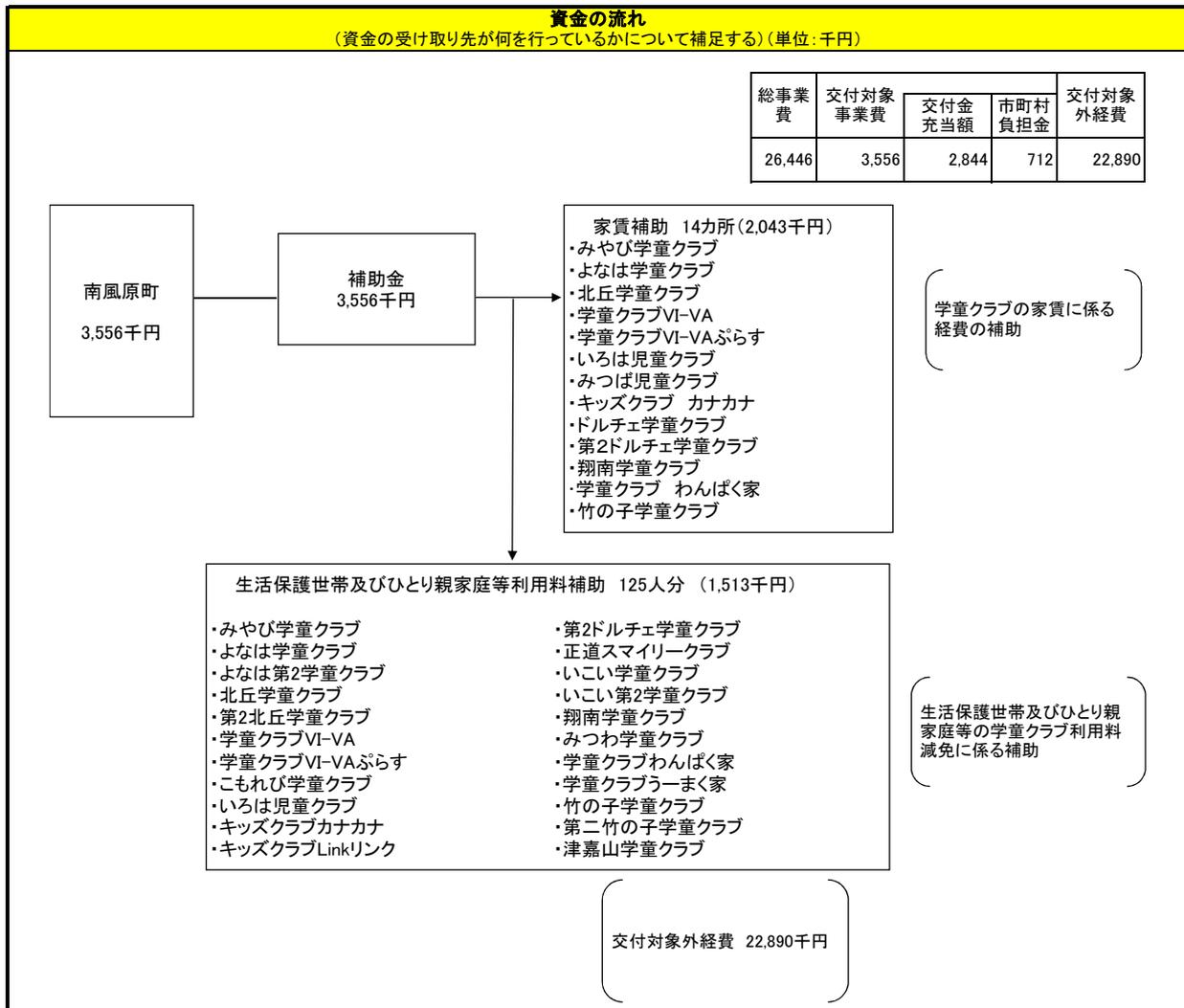
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 排出される資源ごみの増加により、異物混入も増加している。 異物混入対策のため作業員の増員を図ったが人員の確保ができていない。 実績値は目標値を下回っているが、前年度よりリサイクル量の実績は増加しているので引き続き目標達成に向け取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 分別作業スケジュールの見直しを検討する。 収集時に指導シールを貼り異物混入を防ぐ。 目標値は過去の平均値から積算していることから、実績値との乖離が想定されるので、今後も目標値の積算について精査していく。
今後の取り組み方針		
<p>ごみの排出量によって作業時間の延長や作業日の追加など作業スケジュールの見直しに取り組んでいく。また、異物混入が無いよう指導していく。今後も継続して町内から排出される資源ごみを細分化し、リサイクル量の増加を図るとともに、過去の実績を参考に今後の見込みを推計した目標値を設定していくようにする。</p>		



資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 点検・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令第167条の2第1項第3号及び本町障がい者優先調達推進方針に基づく随意契約により実施しており、妥当である。 ○予算執行率は100%で不用額はなく適正であった。 ○費用・使途も事業にかかる経費のみで真に限定的である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	放課後児童の居場所づくり支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-(イ)	
担当課名	民生部 こども課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・若者の育成支援 Ⅲ-4-(1)	
事業内容	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、本町の民間の賃貸住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(a) 当初予算額	10,068	10,627	12,377	12,348	3,615	
	(b) 予算現額	10,190	11,237	12,377	3,069	3,644	
	(c) 増減額 (b-a)	122	610	0	-9,279	29	
	(d) 繰越額	0	0	0	0		
	A. 計 (b+d)	10,190	11,237	12,377	3,069	3,644	
	B. 執行済額	10,075	10,415	11,504	3,040	3,556	
	うち交付金充当額	8,060	8,332	9,203	2,431	2,844	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	98.9%	92.7%	92.9%	99.1%	97.6%	
予算の状況の説明	当初利用支援補助の対象者を107人で見込んでいたが、実際の対象世帯が増えたことにより、増額を行った。不用額については実績で児童の休所や退所等による対象者や対象月数の減によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(1) 家賃補助 14カ所	目標	(10件)	(12件)	(12件)	(14件)	
		実績	11件	12件	14件	14件	
(2) 生活保護世帯及びひとり親世帯等学童クラブ利用支援補助 107人	目標	(92人)	(97人)	(167人)	(107人)		
	実績	95人	100人	103人	125人		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 家賃補助について、令和4年7月に1か月50,000円から255,000円に引上げた補助上限額を継続し、賃借料を負担して民間施設等で運営を行っている14学童クラブに対して、負担軽減のため家賃補助を実施した。 学童利用料の減免に対する支援については、令和4年7月から非課税世帯が追加となり、今年度も非課税世帯を含む対象世帯へ1か月5,000円を上限に利用料減免補助を実施し、見込以上の対象世帯に補助を行うことができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	94%	99%	97%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
進捗状況説明	学童クラブに対する家賃補助の結果、学童利用者の利用料を減額することができ、保護者の負担軽減に繋がったことや、生活保護世帯やひとり親家庭・非課税世帯への学童利用料の減免を行うことで、生活保護世帯やひとり親家庭・非課税世帯が学童クラブに児童を預けやすくなった。その結果、安心・安全に子供を預けることができ、保護者アンケートにおいて子育てへの負担感が軽減されたと答えた割合が97%となった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>昨年度に引き続き、学童クラブへ制度の説明、周知を丁寧に行い、対象世帯が漏れなく減免を受けられるよう努めた。その結果保護者アンケートにおいて目標を上回る結果が出たと考えられる。</p> <p>一方で、昨年度よりも保護者アンケートの結果が下がったことについては、昨年度は年度途中での家賃補助上限額引き上げによる利用料減額があり、保護者の実感もわきやすかったが、今年度は当初から減額後の利用料であることから、新規入所者等は軽減の実感がわきにくかったことが要因と考えられる。</p>	<p>家賃補助の結果による利用料の減額が継続して行われているかを調査するとともに、学童クラブへ事業実施にあたり困り感がないかなどを確認、支援を行うことで、保護者へ適切に還元できるような努め、目標達成を継続する。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>学童クラブへの支援を続けていくとともに、保護者へも事業内容や学童クラブの状況等周知を行い、より学童クラブが利用しやすくなっている現状を伝えることで、学童クラブ利用の促進を図り、子育て負担の軽減ができるよう取り組んでいく。</p>		



資金の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実績等を勘案した上で補助事業者(学童クラブ)を決定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業達成に必要な分の金額を支出し、妥当な額で実施している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金の上限を超える金額はクラブ負担であり、妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時に支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 認可外保育園支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア		
担当部署名	民生部 こども課	事業実施(予定)年度	令和1~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	認可外保育施設の保育の充実及び利用児童の福祉向上を図るため、町内認可外保育施設に対し、運営費、歯科検診、傷害保険に係る費用の一部補助を行う。また、町外認可外保育施設を利用する本町在住児童保護者に対し、保育料軽減を目的として助成を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(a) 当初予算額	2,356	3,941	2,904	1,458	807	
	(b) 予算現額	2,356	3,941	1,806	646	609	
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	-1,098	-812	-198	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	2,356	3,941	1,806	646	609	
	B. 執行済額	2,131	2,152	1,336	425	447	
	うち交付金充当額	1,704	1,721	1,069	339	357	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)	90.4%	54.6%	74.0%	65.8%	73.4%	
予算の状況の説明	当初、補助対象児童数を延べ558人として見込んでいたが、416人に下回ったため予算198千円を減額した。不用額162千円については、補助対象経費となる園内検診が中止になったことなどによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	認可外保育施設への補助 1園		目標 (実施)	(5園)	(3園)	(1園)	
	1. 運営費補助 2. 傷害保険補助 3. 歯科検診補助		実績 実施	3園	3園	1園	
	町外認可外保育施設に通う町内在住者の児童の保護者への助成 13人		目標 (31人)	(31人)	(31人)	(13人)	
			実績 30人	22人	13人	14人	
達成状況説明	・町内認可外保育施設1園に運営費として本町在住児童1人あたり月1,500円の補助を実施した。 ・町外認可外保育施設に通う本町在住児童14人の保護者に1人あたり月1,500円の助成を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	88.0%	90.9%	80.0%	
	【参考指標】園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	100.0%	80.0%	100.0%	
	進捗状況説明	当事業の対象児童保護者に対しアンケートを実施し、目標以上の評価を得ることができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業を広報誌・ホームページで広く周知した結果、成果目標を達成しており、課題はないと考える。 ・町内認可保育施設及び企業主導型保育施設の増加に伴い、町内在住児童の町内認可外保育施設の利用者は減少傾向にあるが、依然として認可外保育施設の需要はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知効率の向上により、成果目標を達成しており改善余地はないものとする。 ・事務手続きについて事業対象施設に丁寧な説明を実施し更なる効率化が必要である。
	今後の取り組み方針	
<p>・施設補助について現在新規施設設立の予定はないため、既存施設においては事務手続きフロー等を作成し引き続き事業を実施する。また、保育料補助においては、保護者への周知は今後も引き続き広報誌やホームページで広く周知し、子育ての負担軽減が図れるよう取り組んでいく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">447</td> <td style="text-align: center;">447</td> <td style="text-align: center;">357</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	447	447	357	90	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費								
447	447	357	90	0								
<pre> graph LR A[南風原町 447千円] --> B[補助金 447千円] B --> C["認可外保育施設への補助 (1施設) なないろ乳幼児園 334.5千円 1 運営費補助 334.5千円 2 傷害保険補助 0千円 3 歯科検診補助 0千円"] B --> D["認可外保育児童助成金 (14人) 112.5千円"] C --- E["認可外保育施設への運営費、傷害保険、歯科検診の補助"] D --- F["町外認可外保育施設に通う園児の保護者への補助"] </pre>												
資金の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明									
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○要綱に基づいての決定しており、妥当であると考えられる。									
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業達成に必要な金額を支出し、妥当な額であると考えられる。									
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○上限を超える金額は施設又は保護者の負担になるので妥当であると考えられる。									
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時の支出等に関する書類により確認し適正であった。									

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	輸入感染症対策推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-エ	
担当部署名	民生部 国保年金課	事業実施(予定)年度	令和2~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化 Ⅲ-4-(2)	
事業内容	麻しん・風しんに感染した観光客が来県した場合でも当該感染症の蔓延を予防し、沖縄観光や経済等への影響を最小限に抑えるため、麻しん・風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	(a) 当初予算額	11,945	12,298	12,984	13,008		
	(b) 予算現額	12,858	12,984	12,984	12,832		
	(c) 増減額(b-a)	913	686	0	-176	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	12,858	12,984	12,984	12,832	0	
	B. 執行済額	11,186	10,953	9,525	9,720		
	うち交付金充当額	8,949	8,762	7,620	7,776		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	87.0%	84.4%	73.4%	75.7%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	事業期間において、1,100件の接種を見込んでいたが、822件の接種となった。予算について第4回変更で減額したが、75.7%の執行となった。なお、他事業の不足により、軽微な変更により1,480千円を他事業へ流用したため、執行率は下がったが、他事業への流用分を差し引くと執行率は85.6%となる。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	MR I 期接種目標率 95%	目標	(95%)	(95%)	(95%)	(95%)	
		実績	103.8%	91.8%	90.2%	97.2%	
	MR II 期接種目標率 95%	目標	(95%)	(95%)	(95%)	(95%)	
		実績	87.9%	84.2%	81.3%	88.7%	
達成状況説明	・MR I 期については、498名の対象者(令和5年10月1日基準日)に対し484名の接種者(令和5年度)があり、達成率は97.2%となり目標到達となった。 ・MR II 期については、町のホームページの掲載や教育委員会の実施する就学前健診時に未接種者への接種勧奨を教育委員会と連携したが、551名の対象者のうち489名(令和5年度)の接種に止まり、達成率は88.7%で目標未達となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績	/	0件	0件	0件	/
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績	/				/
進捗状況説明	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しんの感染は確認されず、目標を達成した。						

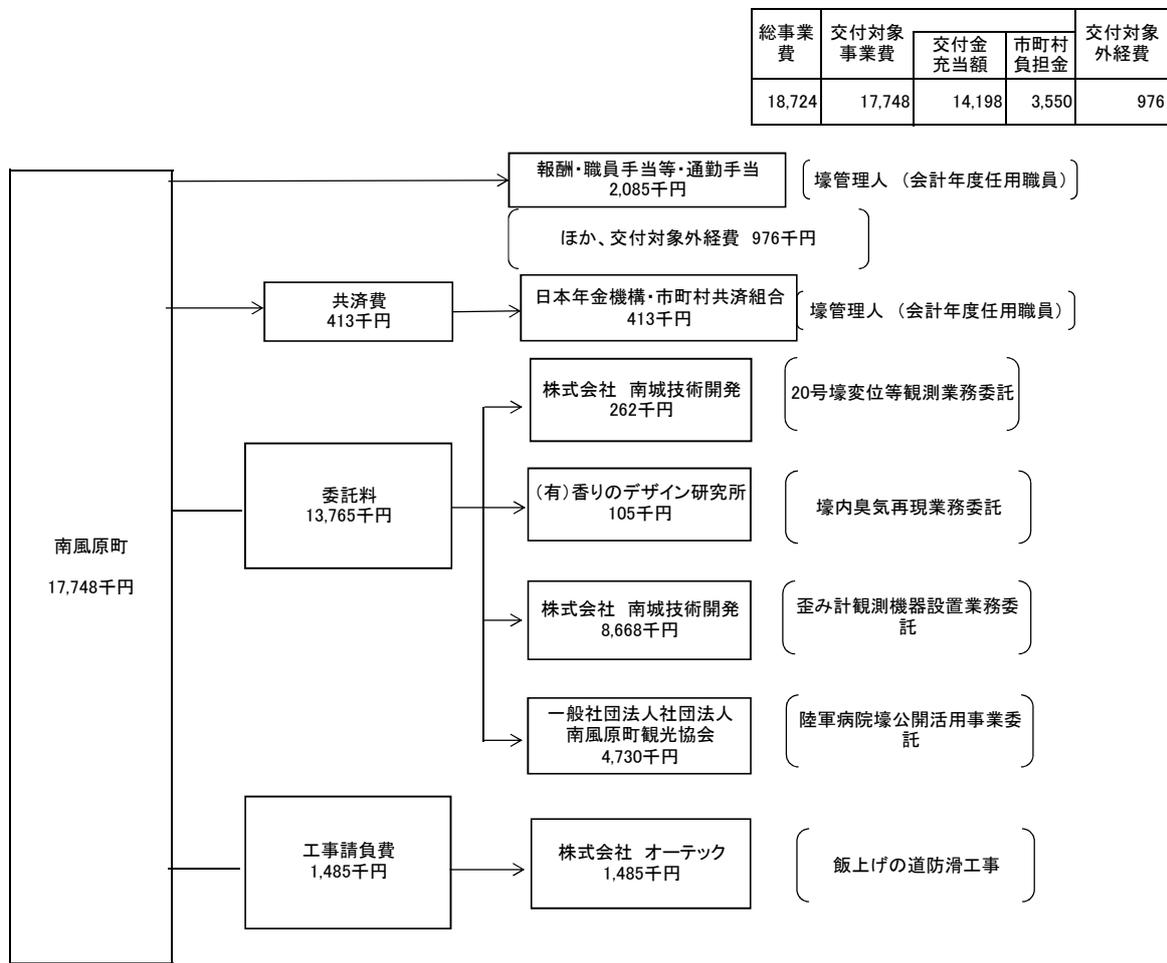
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	成果目標は達成できたが、活動目標である接種率を向上させないと後年度に影響が出る可能性があるため接種率の向上を図る必要がある。	今後も継続した接種率向上を図る取り組みの検討が必要である。
今後の取り組み方針		
MRⅠ期については、1歳6か月健診の際に、母子手帳を確認して未接種の方への接種勧奨に取り組む。MRⅡ期については、就学前健診時の接種勧奨を教育委員会と連携し取り組む。その他、今後も町ホームページやSNS等による予防接種の広報に努め、接種率向上に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,729</td> <td>9,720</td> <td>7,776</td> <td>1,944</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,729	9,720	7,776	1,944	9
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費							
9,729	9,720	7,776	1,944	9							
	<pre> graph LR A[南風原町 9,720千円] --> B[委託費 9,720千円] B --> C["(一社)南部地区医師会 9,720千円"] C --- D["ほか、交付対象外経費 9千円"] C --- E["(予防接種業務委託)"] </pre>										
資金の流し、点検、評価・	評価	点検項目	評価に関する説明								
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は予防接種実施医療機関をまとめている、南部地区医師会と地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づく随意契約となっており妥当である。 ○平均81.5%の接種率があり、予算規模は適正である。 ○使途は予防接種のみと限定されている。								
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。									
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。									
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	陸軍病院壕公開活用事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、壕群を訪れる見学者へのガイド案内を実施することで、南風原町の歴史継承及び観光の誘客を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,042	7,690	7,979	8,090	10,850
		(b) 予算現額	7,042	5,690	7,979	8,125	18,995
		(c) 増減額 (b-a)	0	-2,000	0	35	8,145
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)		7,042	5,690	7,979	8,125	18,995
	B. 執行済額		5,159	3,648	4,433	6,922	17,748
	うち交付金充当額		4,127	2,918	3,546	5,537	14,198
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		73.3%	64.1%	55.6%	85.2%	93.4%
予算の状況の説明		不用額1,247千円は、壕公開活用事業委託の契約期間変更等に伴う220千円の減、会計年度任用職員に係る報酬等の実績による減、また、会計年度任用職員の報酬のうち974千円を交付対象外経費にしたことなどによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	開壕日数309日	目標	(305日)	(308日)	(308日)	(309日)	
		実績	129日	207日	307日	308日	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	・令和5年8月1日・5日は、台風6号が接近したことにより臨時休館をしたため、達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	見学者数8,000人	目標	(9,028)	(10,500人)	(9,000人)	(8,000人)	()
		実績		980人	4,427人	6,363人	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・見学者数は前年度比約43%増を果たしている。 ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したのが5月だったこともあり、町内学校の平和学習や県外からの修学旅行などの団体見学の回復が少なく、目標値に届かなかった。 ・コロナ禍以前、令和元年度の見学者数と比較して、団体見学の見学者数は約55%の回復にとどまった一方、個人見学の見学者数は約87%まで回復している。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したのが5月だったこともあり、団体見学の回復は少なかった。 見学者における団体見学が占める割合は40%で、個人見学が占める割合は約60%であった。 なお、コロナ禍以前のR1年度は、見学者数の団体見学・個人見学の割合は50%・50%であった。</p>	<p>・団体見学を回復させるにあたり、見学団体の要望に応じることができるよう、ガイドの増員など、見学体制の整備が必要である。 ・コロナ禍以前に修学旅行等の団体見学で訪れていた団体が再び来訪できるように、見学プログラムなどの周知方法の改善が必要。 また、見学者の満足度を高めるためにも、ガイド内容の改善をすすめる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・令和2年度等のような新型コロナウイルスにかかる行動制限は無い場合、今後は団体見学の増加が考えられる。 受け入れ態勢を整備していくための継続したガイド養成講座の実施、ガイド内容の改善、そして見学プログラムのホームページ等での周知方法の改善を図る。</p> <p>・年間見学者数をコロナ禍以前に回復させることを目標とする。 参考:令和元年度…9,028名</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



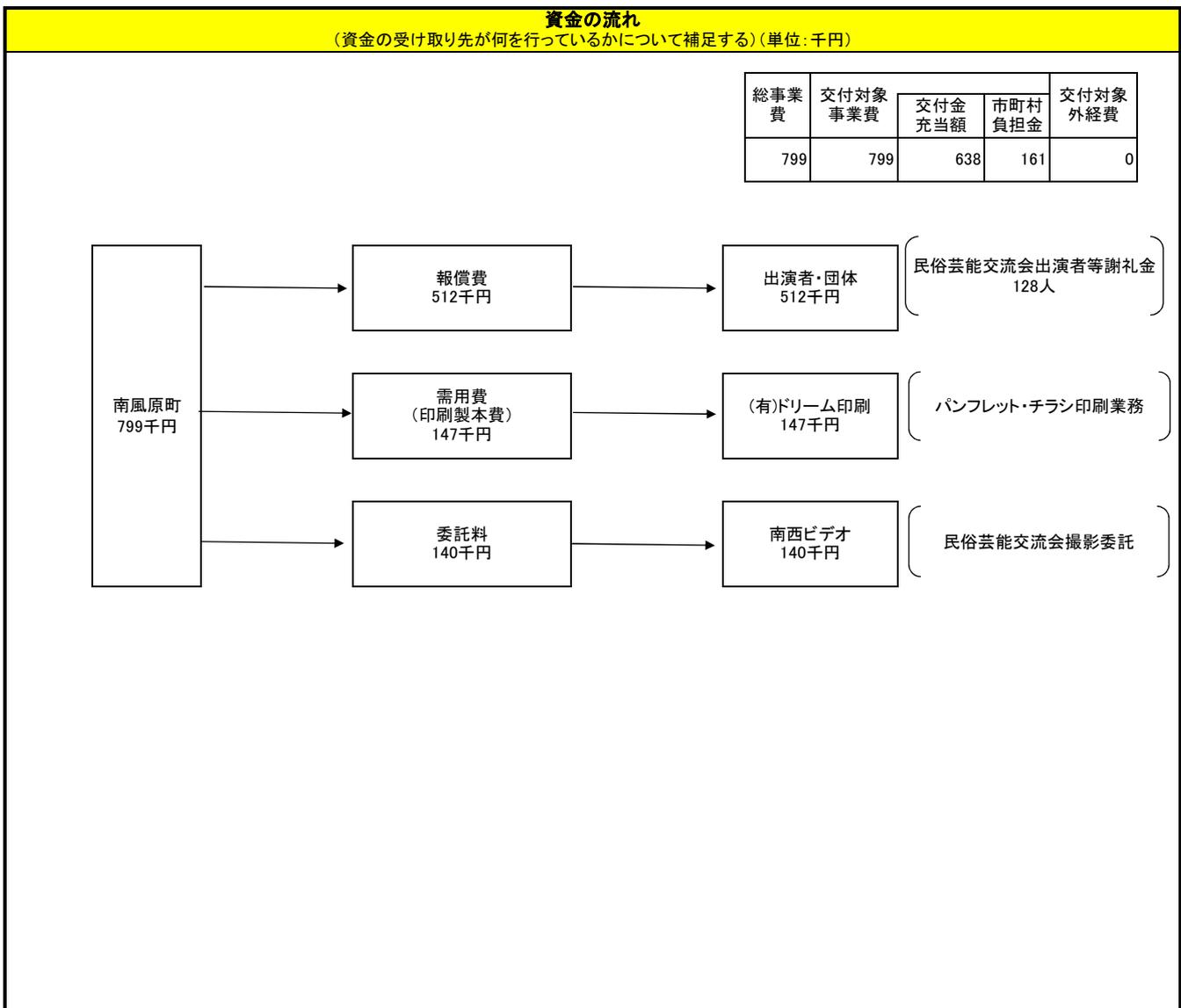
	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員は面接によりしかるべき人物を採用しており、各契約等については地方自治法施行令に基づく随意契約及び指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○1,272千円の不用額が発生したが、見学収入により976千円を対象外経費にしたほか、契約期間の変更などに伴うもので、予算規模そのものは事業内容に見合った適正なものと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について、事業目的の観点から必要なものか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	子ども平和学習交流事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(1)-イ 沖縄戦の実相・教訓の次世代 継承	
担当部署名	生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	あらゆる社会の出来事に目を向け、自分のこととして社会をより深く理解し、平和を築く人材育成を目的として、町内小学校6年生の参加児童が研修を通して平和や戦争、人権や差別などについて学習し、自分の考えや意見を積極的に交換し、視野を広げ関心を高める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	1,120	1,342	1,137	1,137	1,215
		(b) 予算現額	917	482	321	1,127	877
		(c) 増減額 (b-a)	-203	-860	-816	-10	-338
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	917	482	321	1,127	877
	B. 執行済額		905	300	212	959	877
	うち交付金充当額		724	240	169	773	701
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		98.7%	62.2%	66.0%	85.1%	100.0%
予算の状況の説明		予算の338千円減額は、報償費及び負担金・補助金の実績によるものである。					
活動目標 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	子ども平和学習交流事業参加者(8人)	目標	(8人)	(14人)	(8人)	(8人)	
		実績	8人	12人	8人	8人	
事前学習及び県外研修を実施後の報告会を開催	目標	(報告会を開催)	(報告会を開催)	(報告会を開催)	(報告会を開催)		
	実績	報告書を作成し報告に代えた	各参加児童の発表を録画し配信した。	報告会を実施	報告会を実施		
達成状況説明	町内各小学校から6年生計8人を推薦を受けて事業を実施した。6月から県内研修を開始し、7月末には3泊4日の県外研修を実施した。10月には関係者、保護者へ学習の成果を発表する報告会を開催し、3月に児童が学習したことをまとめた報告書を刊行した。						
成果目標 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	参加児童の保護者へのアンケートで、子ども により変化がみられた:90%	目標	()	(90%以上)	(90%以上)	(90%以上)	()
		実績		80%	100%	100%	
	参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の 問題に興味がわいた児童:90%	目標	()	(90%以上)	(90%以上)	(90%以上)	()
実績			100%	100%	100%		
進捗状況説明	参加児童の保護者へのアンケートにおいて「子どもにいい変化がみられた」割合が高く、県外研修の効果が現れている。アンケートでは、家庭でも戦争や人権問題のニュースに関心を持つ、積極的に自身の意見を家族に伝えるようになるなどの変化がみられたという回答が多数あった。また保護者からは、本事業をきっかけに児童が将来の目標を持つようになった、受け身の学習だけではなく現地を訪問して学ぶことや学んだことをまとめる一連の流れに意義がある、固定概念にとらわれないこの時期に日頃の生活では学べないことにもふれる機会が貴重である、今後の児童の生き方にかなり良い影響を与えたと感じる、などの意見が寄せられた。						

市町村名	南風原町					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-③	伝統芸能保存育成事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及	
事業内容	本町の歴史・文化・伝統を保存し後世に継承し、地域振興に繋げていくことを目的とし、伝統芸能保持団体である自治会への道具・衣装・楽器・面玩具等の備品の購入や修繕に対し補助をする。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	449			937
		(b) 予算現額	449			925
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	-12
		(d) 繰越額				
	A. 計 (b+d)		449	0	0	925
	B. 執行済額		449			925
	うち交付金充当額		359	0	0	739
	次年度繰越額					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		予定通り2自治会に対し、伝統芸能保存に対する支援ができた。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	伝統芸能保存育成補助件数 2件	目標	(2件)	(-)	(-)	(2件)
		実績	2件			2件
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	町内の伝統芸能継承を推進するため、2自治会へ伝統芸能保存や継承への取り組みに必要な道具の修繕・購入に対する補助金を交付した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度
	補助団体による伝統芸能上演回数 34回	目標	()	()	()	(34回)
		実績				4回
		目標	()	()	()	()
		実績				
	進捗状況説明	・補助金を受けた自治会のうち、新川自治会は旧盆や青年フェスタ等においてエイサーを4回上演している。宮平自治会においては獅子舞修繕作業の納品が令和6年3月中旬となり、上演出来なかった。				

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-④	民俗芸能交流会開催事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-3-(3)		
事業内容	新たな世代へ地域の伝統芸能を継承し、地域活性化を図るため、町内各地にある伝統芸能を披露する場・交流の機会として民俗芸能交流会を開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度				
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		1,372				
			799				
			-573	0	0	0	
			799	0	0	0	
	B. 執行済額		799				
	うち交付金充当額		638				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明		予算の573千円減額は、報償費等の実績によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度				
	民俗芸能交流会の開催	目標	(開催)	()	()	()	
		実績	開催				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和5年10月20日(日)15:00～17:00に、南風原町立中央公民館黄金ホールにて民俗芸能交流会を開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度		目標値(年度)	
	出演字・演目数(6字12演目)	目標	()	(6字12演目)	()	()	()
		実績		8字16演目			
	参加者数(出演・来客)(450人)	目標	()	(計450人)	()	()	()
		実績		出演者:128人 来客:400人			
	進捗状況説明	出演字および演目数は、目標を上回る8字16演目の出演があった。特に、今回は近年演じられてこなかった演目の復活に力を入れた。町指定 無形民俗文化財の字宮城の狂言「銭借人」の40年ぶりの公演は会場を盛り上げ、若い世代への継承および普及の機会となった。 参加者数についても、復活演目等が話題をよび、目標値を上回る参加があった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>近年は新型コロナウイルスの影響で各地域の年中行事の中止が続き、民俗芸能を演じる場が失われ、継承の危機に直面している。また、しばらく上演していない演目がある地域では経験者の高齢化問題に直面している。</p> <p>そこで、民俗芸能を上演する機会を提供し、他地域の類似の芸能を鑑賞して刺激を受けることで、若い世代による民俗芸能を活性化させることを目的に民俗芸能交流会を開催した。今回は出演者・演目数および来場者数が成果目標を上回った。今回は復活演目等が話題をよんだことが成果目標を上回った要因の一つと考えられる。今回の交流会開催で、改めて民俗芸能への注目の高さがうかがえた。今後は安定的な継承、さらなる演目の復活に力を入れていく必要がある。</p>	<p>今回の民俗芸能交流会で40年ぶりに復活した芸能もあり、町内各地域の関係者はさらなる地域芸能の掘り起こしに向けて活気づき、機運が高まっている。</p> <p>令和5年度に復活した演目を安定的に継承し、さらなる演目の掘り起こしを図るため、令和7年度の開催(隔年開催)に向けて、町、町民俗芸能保存会、各字との連携を強化していく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>今後も民俗芸能交流会を隔年で実施することにより、町内の民俗芸能を演じる機会を提供し、若い世代への継承と地域の伝統文化の発信を行っていく。町、町民俗芸能保存会、各字が連携し、継承等に関する問題の共有や情報交換、各地域同士の交流を行うことで、充実した民俗芸能交流会の実施と南風原町の民俗芸能の発展に努める。</p>		



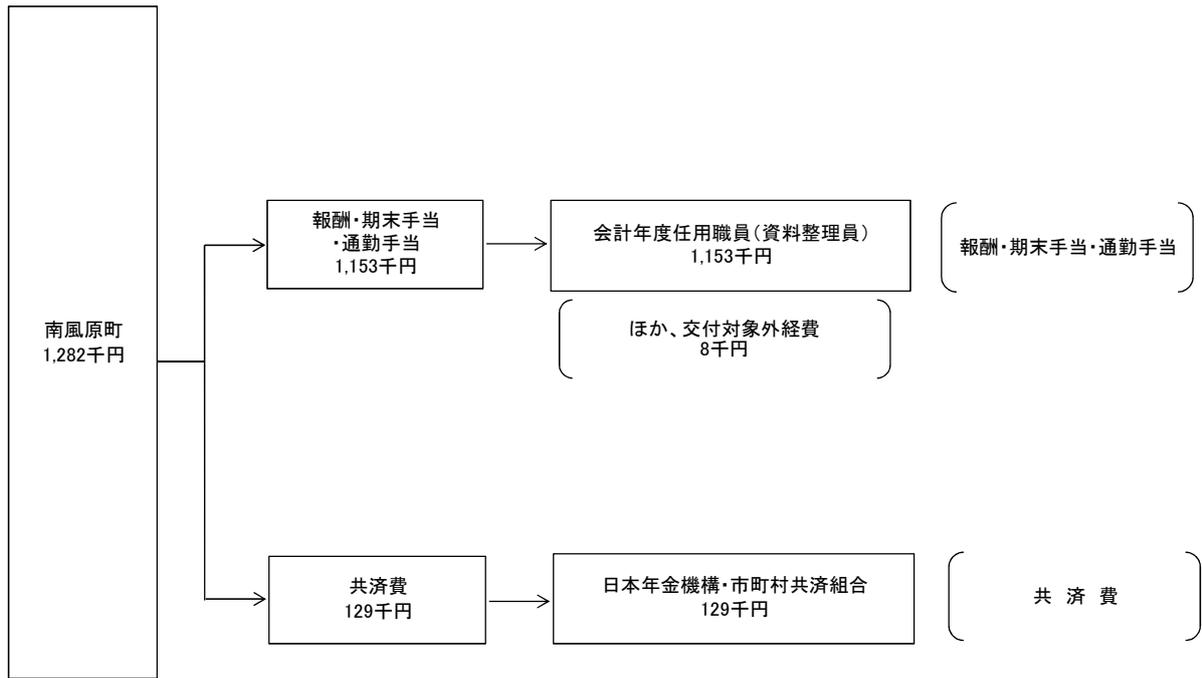
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の事業者は町の契約規則に基づき随意契約しており、適切であった。出演者および演目は町民俗芸能保存会の有識者との調整の上選定しており、適切であった。出演者謝礼金については町の基準に基づき適切に支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業達成に必要な金額を支出し妥当な額で実施している。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途が事業目的である民俗芸能交流会開催に必要な経費として目的に即している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑤	資料の公開活用事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和11年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	町独自の文化・歴史・伝統を後世へ継承し、発信していくために、南風原文化センターの収蔵資料をデータベース化、デジタルアーカイブとして公開することで、沖縄および南風原の歴史学習に活かすとともに、歴史文化を後世に継承し、地域振興につなげる。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R7年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	1,009				
		(b)予算現額	1,069				
		(c)増減額(b-a)	60	0	0	0	
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	1,069	0	0	0	
		B.執行済額	1,282				
		うち交付金充当額	1,025				
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	119.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	10月より採用の会計年度任用職員の報酬等について、不足が生じたため、不足分213千円については軽微な変更手続きにより他事業より流用し事業を執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度				
	民具、文書資料等整理500点	目標	(500点)	()	()		
		実績	585点				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	民具、文書資料等585点の計測、撮影、データベース化および収蔵を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(R2年度)	R5年度		目標値(R7年度)	
	資料約500点のデータベース化完了	目標	()	(500点完了)	()	()	
		実績		585点完了	-	-	
	【R7年度成果目標】 南風原文化センター来館者数(壕見学者含む) 28,000人	目標	(3,000人)	(-)	()	()	(28,000人)
		実績		10,465人	-	-	
進捗状況説明	入館者数については、コロナ禍(R2年度)において3,000人であったが、R5年度においては10,000人を超える人数となっており、コロナ禍前の入館者数に戻りつつある。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>令和5年度は成果目標を上回る資料585点のデータベース化を実施した。データベース化にあたって、資料受入時の情報票が紙への手書きの状態であったため、データ入力作業に時間を要している。</p>	<p>受入時の情報票の一部デジタル化を行うとともに、令和6年度導入予定の公開システムと連携する形でデータベース管理を行い、一連の作業の効率化および正確性を高める。また、他自治体の先進事例の調査、情報共有を行い、より効率的なしくみを検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後も資料のデジタル化・データベース化を実施し、並行して令和6年度には資料公開システムを導入する。令和7年度からデジタルアーカイブ公開を開始するが、資料の公開にあたっては資料の権利確認、情報聞き取り調査、公開可否を行った上で順次公開していく。 また、公開後は一般への活用の呼びかけのほか、学校教育、修学旅行における主体的な学習活動への活用を促進するために活用パッケージの開発等も実施する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,290	1,282	1,025	257	8



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○資料整理員の選定は、採用前に面接を行い、経験等を考慮して採用しており妥当である。 ○予算規模は町の基準で積算されており適正と考える。 ○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた時給を支払っており適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 長寿県復活食の応援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-ア		
担当部署名	民生部 国保年金課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進		
事業内容	将来の生活習慣病の予防に向け、町内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(a) 当初予算額	3,438	4,944	4,945	4,440	5,272	
	(b) 予算現額	3,216	2,320	2,669	2,954	2,729	
	(c) 増減額 (b-a)	-222	-2,624	-2,276	-1,486	-2,543	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	3,216	2,320	2,669	2,954	2,729	
	B. 執行済額	3,166	2,241	2,608	2,917	2,728	
	うち交付金充当額	2,533	1,793	2,086	2,333	2,181	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)	98.4%	96.6%	97.7%	98.7%	100.0%	
予算の状況の説明	学童期の生活習慣病予防健診受診者が当初の見込みを下回ったため、補正により2,543千円の予算減額を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	生活習慣病予防健診の実施	目標	(開催)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	開催	実施	実施	実施	
	健診結果説明会の実施	目標	(開催)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	中止	中止	中止	実施	
達成状況説明	学童期における生活習慣病予防健診を小学5年生242人、中学2年生148人に実施することができた。生活習慣病予防健診後は健診結果説明会を開催し、親子で健診結果からの生活習慣を振り返るための学習会を実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	中学2年生の継続受診率60%(令和2年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	目標	()	(60%)	(60%)	(60%)	()
		実績		56.6%	78.1%	61.5%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和2年度に小学5年生で受診した者のうち、令和5年度も継続受診した割合は61.5%であった。						

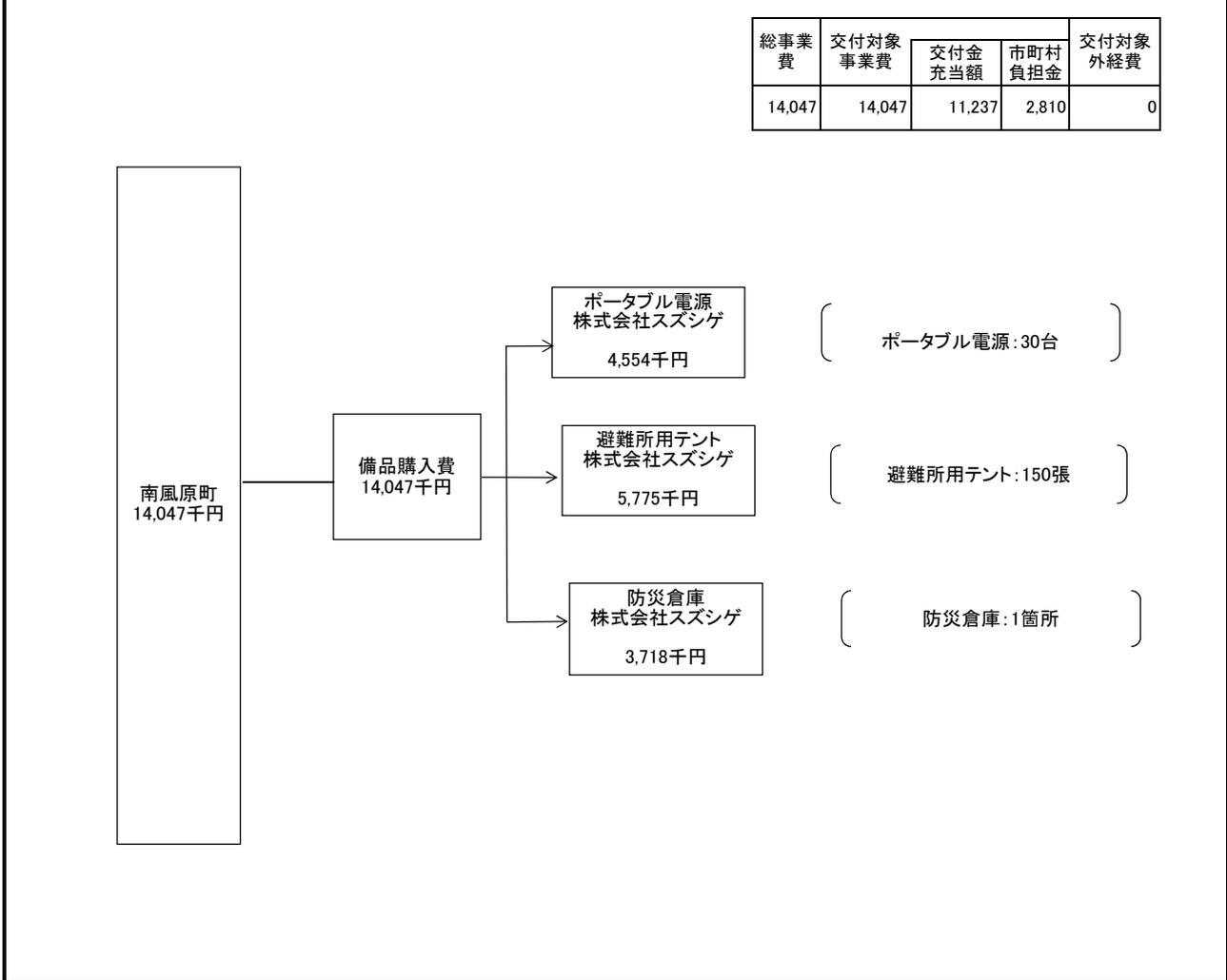
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の目的は生活習慣病予防健診の結果を知ることでの生活の振り返りを行うことである。生活習慣病予防健診後の親子での集団健診結果説明会を継続実施し、親子で生活を振り返るような保健指導を実施する。 ・生活習慣病予防健診受診率がR5年度低下した。受診率向上に向けた取り組みが必要である。 ・成果目標の継続受診率がR4年度に比べ減少している。児童生徒が受診しやすいよう、集団健診のみでなく、個別医療機関での健診機会を検討する。また、小学校5年次の健診結果説明会や案内通知において、中学2年次に再度受診(継続受診)する必要性について理解してもらえるよう説明内容を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防健診受診日は保護者同伴のため、生活習慣病予防健診会場を活用した生活の振り返りができるような情報の発信を考えていく。 ・情報を活用することで子どもを通して家族全体の健康づくりに役立てられるようねらいを定めた情報発信をしていきたい。 ・受診率向上に向けて、集団健診だけでなく個別医療機関健診ができるよう検討していきたい。 ・継続受診の重要性や目的等を案内通知へ記載したり、児童生徒及び保護者への説明方法を工夫する。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防健診結果と生活習慣とのつながりを本人および保護者がイメージできるよう最新知見を取り入れ、当事者の生活実態に合わせた情報が発信できるよう、健診当日のポピュレーションアプローチのパネル展示や健診結果説明会の継続実施。また家庭においても実施出来るように配布できるような資料を継続し検討していく。また、令和6年度から個別医療機関健診ができるよう調整を行う。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)											
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,728</td> <td style="text-align: center;">2,728</td> <td style="text-align: center;">2,181</td> <td style="text-align: center;">547</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,728	2,728	2,181	547	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費							
2,728	2,728	2,181	547	0							
南風原町 2,728千円	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">委託料 2,616千円</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">一般社団法人 日本健康倶楽部沖縄支部 2,616千円</div> <div style="margin-left: 20px;">〔 学童期における生活習慣病予防健診 〕</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">役務費 (通信運搬費) 112千円</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">日本郵便株式会社 112千円</div> <div style="margin-left: 20px;">〔 学童生活習慣病健診に関する通 〕</div> </div>										
資金の用途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明								
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令に基づく随意契約により実施しており、妥当である。 ○事業内容に基づく事業執行を行い、支出先の選定についても妥当であったことから、予算規模は、適正であったと考える。 ○費目、用途について精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。								
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。									
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。									
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									

市町村名	南風原町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	防災体制強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-(ア)		
担当部署名	総務部 総務課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	危機管理体制の強化		
事業内容	地震や大雨などの自然災害に対する避難施設の体制強化や自主防災体制を強化するため、避難所や一時避難所等の充実や災害対応の強化を図る。南風原町地域防災計画に基づき避難所における災害対応についての事前措置推進策を講じ、住民や観光客等の安全を確保する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	15,620				
		(b)予算現額	15,620				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	15,620	0	0	0	
	B.執行済額		14,047				
	うち交付金充当額		11,237				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		89.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		不用額1,573千円については入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度				
	・ポータブル電源の購入(30台)	目標	(30台)	()	()	()	
		実績	30台				
	・避難所用テントの購入(150張)	目標	(150張)	()	()	()	
		実績	150張				
	・防災用倉庫の整備(1箇所)	目標	(1箇所)	()	()	()	
実績		1箇所					
達成状況説明	ポータブル電源については、緊急避難所である各自治公民館等に18台、指定避難所である総合保健福祉防災センターに10台、役場庁舎に2台整備を行った。 避難所用テントは指定避難所である総合保健福祉防災センターに整備を行った。 防災倉庫は指定避難所である総合保健福祉防災センターに避難所用テントとポータブル電源の保管庫として整備を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度		目標値 (R6年度)	
	指定避難所(南風原町総合保健福祉防災センター)及び緊急避難所(自治公民館)への災害用備品の設置完了。	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【R6成果目標】 整備を行った資機材を活用し、防災訓練を実施する。	目標	()	()	()	()	(1回以上)
		実績					
進捗状況説明	令和5年度分の資機材整備が完了したため、整備備品を活用した防災訓練を令和6年度以降年に1回以上実施することを目標とする。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	(災害用備品の設置) ・令和5年度に計画した災害用備品について、計画通りに災害用備品を整備することができた。	(災害用備品の設置) ・災害用備品について、最新の情報や先進事例等を参考に必要な備品の整備を進めていく。	
	(防災訓練等の実施) ・整備した災害用備品について、災害発生時等に適切かつ、迅速に使用できるように計画的な訓練の実施が必要である。	(防災訓練等の実施) ・整備した災害用備品を活用した防災訓練を計画的に行い、防災体制の強化を図る。	
今後の取り組み方針			
<p>整備した避難所用テント及びポータブル電源、防災倉庫については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、避難所用テントを活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、町民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定し実施を行う。</p>			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入した備蓄品は、指名競争入札で実施し、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額については、すべて入札残によるものであり事業内容は適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	